

参考資料 1

参考資料 1 . 1 (検査対象項目調書 (その 1)):

水質項目一覧表及び過去の測定結果のまとめ

(平成 2 7 ~ 2 9 年度)

参考資料 1 . 2 (検査対象項目調書 (その 2)):

水質項目の水質管理上の評価および過去の濃
度とその範囲の検討 (平成 2 7 ~ 2 9 年度)

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類	1	1	1	1	
中分類	1	2	3	4	
項目名	一般細菌	大腸菌	カドミウム及びその化合物	水銀及びその化合物	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	100個/ml	不検出	0.003	0.0005	
公定法(または通知法)	標準寒天培地法	特定酵素基質培地	FAAS/ICP/ICP-MS	CV-AAS	
本市測定法	標準寒天培地法	特定酵素基質培地	ICP-MS	CV-AAS	
検査の省略・優先度	不可	不可	原水の状況	原水の状況	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	4000	570	<0.0003	<0.00005
	原水(最大値)	51,000	17,000	<0.0003	<0.00005
	浄水(平均値)	0	「-」	<0.0003	<0.00005
	浄水(最大値)	2.0	「-」	<0.0003	<0.00005
	給水栓水 (平均値)	0	「-」	-	-
	給水栓水 (最大値)	2.0	「-」	-	-
最小記入値(mg/L)	0		0.0003	0.00005	
特記事項		ピルビン酸添加X-GAL培地			
琵琶湖	1/月	1/月	-	-	
本川	1/月	1/月	1/月	6/年	
支川	6/年	6/年	6/年	6/年	
事業所	-	4/年	4/年	4/年	
原水	1/月	1/月	4/年	4/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	1/日	1/日	4/年	4/年	
市内給水栓	1/月	1/月	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考		水源・原水については大腸菌群を継続検査する			
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	1	1	1	1	
中分類	5	6	7	8	
項目名	セレン及びその化合物	鉛及びその化合物	ヒ素及びその化合物	六価クロム化合物	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	0.01	0.01	0.01	0.05	
公定法(または通知法)	Hy-AAS/FAAS/Hy-ICP/ICP-MS	FAAS/ICP/ICP-MS	Hy-AAS/FAAS/Hy-ICP/ICP-MS	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS	
本市測定法	ICP-MS	FAAS/ICP-MS	ICP-MS	ICP-MS	
検査の省略・優先度	原水の状況	資機材(鉛管)	原水の状況	原水の状況・資機材・薬品	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.001	<0.001	0.0009	<0.005
	原水(最大値)	<0.001	<0.001	0.0020	<0.005
	浄水(平均値)	<0.001	<0.001	<0.0005	<0.005
	浄水(最大値)	<0.001	<0.001	0.0008	<0.005
	給水栓水(平均値)	-	<0.001	-	<0.005
	給水栓水(最大値)	-	0.006	-	<0.005
最小記入値(mg/L)	0.001	0.001	0.0005	0.005	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	1/月	1/月	1/月	1/月	
支川	6/年	6/年	6/年	6/年	
事業所	4/年	4/年	4/年	4/年	
原水	4/年	4/年	4/年	4/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	4/年	4/年	4/年	4/年	
市内給水栓	-	4/年	-	4/年	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	1	1	1	1	
中分類	9	10	11	12	
項目名	亜硝酸態窒素	シアン化物イオン及び塩化シアン	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	フッ素及びその化合物	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	0.04	0.01	10	0.8	
公定法(または通知法)	IC	IC-PC	IC	IC	
本市測定法	IC	IC-PC	IC	IC	
検査の省略・優先度	原水の状況	不可	不可	原水の状況	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	0.007	<0.001	0.8	0.09
	原水(最大値)	0.030	<0.001	1.2	0.12
	浄水(平均値)	<0.004	<0.001	0.9	0.08
	浄水(最大値)	<0.004	<0.001	1.3	0.11
	給水栓水 (平均値)	<0.004	<0.001	0.9	0.08
	給水栓水 (最大値)	<0.004	<0.001	1.3	0.12
最小記入値(mg/L)	0.004	0.001	0.1	0.05	
特記事項					
琵琶湖	1/月	-	1/月	-	
本川	1/月	6/年	1/月	1/月	
支川	6/年	6/年	6/年	6/年	
事業所	4/年	4/年	4/年	4/年	
原水	1/月	4/年	1/月	1/月	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	1/月	4/年	1/月	1/月	
市内給水栓	1/月	4/年	1/月	1/月	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	1	1	1	1	
中分類	13	14	15	16	
項目名	ホウ素及びその化合物	四塩化炭素	1,4-ジオキサン	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	1.0	0.002	0.05	0.04	
公定法(または通知法)	ICP/ICP-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS/SA-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	
本市測定法	ICP-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	
検査の省略・優先度	省略可(海水淡水化のみ不可)	省略可(地下水のみ不可)	省略可(地下水のみ不可)	省略可(地下水のみ不可)	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	0.02	<0.0001	<0.0005	<0.0004
	原水(最大値)	0.03	<0.0001	<0.0005	<0.0004
	浄水(平均値)	0.02	<0.0001	<0.0005	<0.0004
	浄水(最大値)	0.03	<0.0001	<0.0005	<0.0004
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.01	0.0001	0.002	0.0004	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	1/月	6/年	6/年	6/年	
支川	6/年	6/年	6/年	6/年	
事業所	4/年	2/年	2/年	2/年	
原水	4/年	6/年	4/年	6/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	4/年	6/年	4/年	6/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類		1	1	1	1
中分類		17	18	19	20
項目名		ジクロロメタン	テトラクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン
分類		水質基準	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)		0.02	0.01	0.01	0.01
公定法(または通知法)		PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS
本市測定法		PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS
検査の省略・優先度		省略可(地下水のみ不可)	省略可(地下水のみ不可)	省略可(地下水のみ不可)	省略可(地下水のみ不可)
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.001	<0.0001	<0.0003	<0.001
	原水(最大値)	<0.001	<0.0001	<0.0003	<0.001
	浄水(平均値)	<0.001	<0.0001	<0.0003	<0.001
	浄水(最大値)	<0.001	<0.0001	<0.0003	<0.001
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)		0.001	0.0001	0.0003	0.001
特記事項					
琵琶湖		-	-	-	-
本川		6/年	6/年	6/年	6/年
支川		6/年	6/年	6/年	6/年
事業所		2/年	2/年	2/年	2/年
原水		6/年	6/年	6/年	6/年
沈殿水		-	-	-	-
ろ過水		-	-	-	-
GAC吸着水		-	-	-	-
浄水		6/年	6/年	6/年	6/年
市内給水栓		-	-	-	-
測定頻度の変更		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	1	1	1	1	
中分類	21	22	23	24	
項目名	塩素酸	クロロ酢酸	クロロホルム	ジクロロ酢酸	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	0.6	0.02	0.06	0.03	
公定法(または通知法)	IC	SE-GC-MS/LC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SE-GC-MS/LC-MS	
本市測定法	IC	SE-GC-MS/LC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SE-GC-MS/LC-MS	
検査の省略・優先度	資機・薬品	不可	不可	不可	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	-	-	-	
	原水(最大値)	-	-	-	
	浄水(平均値)	0.027	<0.002	<0.001	<0.001
	浄水(最大値)	0.050	<0.002	0.001	<0.001
	給水栓水 (平均値)	0.027	<0.002	0.001	<0.001
	給水栓水 (最大値)	0.073	<0.002	0.008	0.002
最小記入値(mg/L)	0.005	0.002	0.001	0.001	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	-	-	6/年	-	
支川	-	-	6/年	-	
事業所	-	-	2/年	-	
原水	-	-	-	-	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	1/月	6/年	6/年	6/年	
市内給水栓	1/月	6/年	6/年	6/年	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考	次亜塩素酸の分解により生成				
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	1	1	1	1	
中分類	25	26	27	28	
項目名	ジブロモクロロメタン	臭素酸	総トリハロメタン	トリクロロ酢酸	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	0.1	0.01	0.1	0.03	
公定法(または通知法)	PT-GC-MS/HS-GC-MS	IC-PC	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SE-GC-MS/LC-MS	
本市測定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	IC-PC	PT-GC-MS/HS-GC-MS	SE-GC-MS/LC-MS	
検査の省略・優先度	不可	不可	不可	不可	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	-	<0.001	-	
	原水(最大値)	-	<0.001	-	
	浄水(平均値)	0.002	0.001	0.003	<0.001
	浄水(最大値)	0.005	0.004	0.012	<0.001
	給水栓水(平均値)	0.004	0.001	0.009	<0.001
	給水栓水(最大値)	0.010	0.005	0.029	0.002
最小記入値(mg/L)	0.001	0.001	0.001	0.001	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	-	8/年	-	-	
支川	-	6/年	-	-	
事業所	-	4/年	-	-	
原水	-	1/週(6~9月)、1/月(4~5月、10~3月)	-	-	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	6/年	1/週(6~9月)、1/月(4~5月、10~3月)	6/年	6/年	
市内給水栓	6/年	1/月	6/年	6/年	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考		浄水管理上の調査項目として、高水温期に測定頻度を増			
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	1	1	1	1	
中分類	29	30	31	32	
項目名	プロモジクロロメタン	プロモホルム	ホルムアルデヒド	亜鉛及びその化合物	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	0.03	0.09	0.08	1.0	
公定法(または通知法)	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	MOD-SE-GC-MS	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS	
本市測定法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	MOD-SE-GC-MS	ICP-MS	
検査の省略・優先度	不可	不可	不可	資機材・薬品	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	-	-	<0.1	
	原水(最大値)	-	-	<0.1	
	浄水(平均値)	<0.001	<0.001	<0.002	<0.1
	浄水(最大値)	0.004	0.002	<0.002	<0.1
	給水栓水(平均値)	0.003	0.001	<0.002	<0.1
	給水栓水(最大値)	0.010	0.003	<0.002	<0.1
最小記入値(mg/L)	0.001	0.001	0.002	0.1	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	-	-	-	1/月	
支川	-	-	-	6/年	
事業所	-	-	-	4/年	
原水	-	-	-	4/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	6/年	6/年	6/年	4/年	
市内給水栓	6/年	6/年	6/年	4/年	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	1	1	1	1	
中分類	33	34	35	36	
項目名	アルミニウム及びその化合物	鉄及びその化合物	銅及びその化合物	ナトリウム及びその化合物	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	0.2	0.3	1.0	200	
公定法(または通知法)	FAAS/ICP/ICP-MS	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS/IC	
本市測定法	ICP-MS/FAAS	ICP-MS/FAAS	ICP-MS	ICP-MS/FAAS	
検査の省略・優先度	資機材・薬品	資機材・薬品	資機材・薬品	原水の状況	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	0.08	0.22	<0.1	11
	原水(最大値)	0.30	0.68	<0.1	15
	浄水(平均値)	<0.01	<0.03	<0.1	17
	浄水(最大値)	0.02	<0.03	<0.1	21
	給水栓水 (平均値)	<0.01	<0.03	<0.1	17
	給水栓水 (最大値)	0.02	<0.03	<0.1	21
最小記入値(mg/L)	0.01	0.03	0.1	2	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	-	1/月	1/月	-	
支川	-	6/年	6/年	-	
事業所	-	4/年	4/年	-	
原水	4/年	4/年	4/年	4/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	1/月	4/年	4/年	4/年	
市内給水栓	4/年	4/年	4/年	4/年	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	1	1	1	1	
中分類	37	38	39	40	
項目名	マンガン及びその化合物	塩化物イオン	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	蒸発残留物	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	0.05	200	300	500	
公定法(または通知法)	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS	IC/Tit	Tit/ICP/ICP-MS/IC/AAS	Weight	
本市測定法	ICP-MS/FAAS	IC	Tit	Weight	
検査の省略・優先度	原水の状態	不可	原水の状態	原水の状態	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	0.040	12	41	93
	原水(最大値)	0.220	16	45	114
	浄水(平均値)	<0.001	13	41	97
	浄水(最大値)	0.007	16	45	120
	給水栓水(平均値)	<0.001	13	-	-
	給水栓水(最大値)	0.004	17	-	-
最小記入値(mg/L)	0.001	1	5	1	
特記事項			EDTA法		
琵琶湖	-	1/月	-	-	
本川	1/月	1/月	-	-	
支川	6/年	6/年	-	-	
事業所	4/年	4/年	-	-	
原水	1/週	1/月	4/年	4/年	
沈殿水	1/週	-	-	-	
ろ過水	1/週	-	-	-	
GAC吸着水	1/週	-	-	-	
浄水	1/週	1/月	4/年	4/年	
市内給水栓	4/年	1/月	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考			Ca,Mgは計算で算出		
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類		1	1	1	1
中分類		41	42	43	44
項目名		陰イオン界面活性剤	ジェオスミン	2-メチルイソボルネオール	非イオン界面活性剤
分類		水質基準	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)		0.2	0.00001	0.00001	0.02
公定法(または通知法)		HPLC	SA-GC-MS/PT-GC-MS/HS-GC-MS	SA-GC-MS/PT-GC-MS/HS-GC-MS	SA-AS/SA-HPLC
本市測定法		HPLC	SA-GC-MS/PT-GC-MS/HS-GC-MS	SA-GC-MS/PT-GC-MS/HS-GC-MS	SA-HPLC
検査の省略・優先度		原水の状況	原水の状況	原水の状況	原水の状況
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.02	0.000004	0.000003	<0.002
	原水(最大値)	<0.02	0.000029	0.000006	0.002
	浄水(平均値)	<0.02	<0.000001	<0.000001	<0.002
	浄水(最大値)	<0.02	<0.000001	<0.000001	<0.002
	給水栓水(平均値)	-	<0.000001	<0.000001	-
	給水栓水(最大値)	-	<0.000001	<0.000001	-
最小記入値(mg/L)		0.02	0.000001	0.000001	0.002
特記事項					
琵琶湖		-	6/年	6/年	-
本川		6/年	6/年	6/年	6/年
支川		6/年	-	-	6/年
事業所		2/年	-	-	2/年
原水		4/年	発生時期に1/月	発生時期に1/月	4/年
沈殿水		-	-	-	-
ろ過水		-	-	-	-
GAC吸着水		-	-	-	-
浄水		4/年	発生時期に1/月	発生時期に1/月	4/年
市内給水栓		-	発生時期に1/月	発生時期に1/月	-
測定頻度の変更		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
備考			原水が50ng/L程度になれば、処理工程も測定	原水が50ng/L程度になれば、処理工程も測定	
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	1	1	1	1	
中分類	45	46	47	48	
項目名	フェノール類	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	pH値	味	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	0.005	3	5.8~8.6	異常でない	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	TOC	EL	官能法	
本市測定法	SA-GC-MS	TOC	EL	官能法	
検査の省略・優先度	原水の状況	不可	不可	不可	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.0005	1.6	7.4	-
	原水(最大値)	<0.0005	4.0	8.3	-
	浄水(平均値)	<0.0005	0.7	7.5	異常なし
	浄水(最大値)	<0.0005	1.2	7.8	-
	給水栓水(平均値)	-	0.7	7.6	異常なし
	給水栓水(最大値)	-	0.9	7.9	-
最小記入値(mg/L)	0.0005	0.1	0.1		
特記事項					
琵琶湖	-	1/月	1/月	-	
本川	6/年	1/月	1/月	-	
支川	-	6/年	6/年	-	
事業所	2/年	4/年	4/年	-	
原水	4/年	1/日(休日除く) (溶存有機炭素として)	1/日	-	
沈殿水	-	1/週	1/日(休日除く)	-	
ろ過水	-	1/週	1/日(休日除く)	-	
GAC吸着水	-	1/週	1/日(休日除く)	-	
浄水	4/年	1/日(休日除く)	1/日	1/日	
市内給水栓	-	1/月	1/月	1/月	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考		琵琶湖・本川は溶存有機炭素も測定			
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	1	1	1	2	
中分類	49	50	51	1	
項目名	臭気	色度	濁度	アンチモン及びその化合物	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	異常でない	5度	2度	0.02	
公定法(または通知法)	官能法	比色法・透過光測定法	比濁法・光電光度法	Hy-AAS/Hy-ICP/ICP-MS	
本市測定法	官能法	比色法・透過光測定法	比濁法・光電光度法	ICP-MS	
検査の省略・優先度	不可	不可	不可	原水の状況	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	-	17	7.0	0.00016
	原水(最大値)	-	500	250	0.00026
	浄水(平均値)	異常なし	<0.5	<0.1	0.00015
	浄水(最大値)	-	1.2	<0.1	0.00023
	給水栓水(平均値)	異常なし	<0.5	<0.1	-
	給水栓水(最大値)	-	0.9	<0.1	-
最小記入値(mg/L)		1(原水:比色法),0.5(浄水・給水栓水:透過光)	0.5(原水:比濁法),0.1(浄水・給水栓水:光電)	0.00005	
特記事項					
琵琶湖	1/月	1/月	1/月	-	
本川	1/月	1/月	1/月	1/月	
支川	6/年	6/年	6/年	6/年	
事業所	4/年	4/年	4/年	4/年	
原水	1/日	1/日	1/日	4/年	
沈殿水	1/日(休日除く)	1/日(休日除く)	1/日(休日除く)	-	
ろ過水	1/日(休日除く)	1/日(休日除く)	1/日(休日除く)	-	
GAC吸着水	1/日(休日除く)	1/日(休日除く)	1/日(休日除く)	-	
浄水	1/日	1/日	1/日	4/年	
市内給水栓	1/月	1/月	1/月	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考			ろ過水以降は、光電光度法		
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	2	2	2	2	
中分類	2	3	5	8	
項目名	ウラン及びその化合物	ニッケル及びその化合物	1,2-ジクロロエタン	トルエン	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.002(暫定)	0.02	0.004	0.4	
公定法(または通知法)	SA-ICP/ICP-MS	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	
本市測定法	ICP-MS	ICP-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	
検査の省略・優先度	原水の状況	資機材	省略可	省略可	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.0001	<0.001	<0.0001	<0.006
	原水(最大値)	<0.0001	0.004	<0.0001	<0.006
	浄水(平均値)	<0.0001	<0.001	<0.0001	<0.006
	浄水(最大値)	<0.0001	<0.001	<0.0001	<0.006
	給水栓水(平均値)	-	<0.001	-	-
	給水栓水(最大値)	-	0.008	-	-
最小記入値(mg/L)	0.0001	0.001	0.0001	0.006	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	1/月	1/月	6/年	6/年	
支川	6/年	6/年	6/年	6/年	
事業所	4/年	4/年	2/年	2/年	
原水	4/年	4/年	6/年	6/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	4/年	4/年	6/年	6/年	
市内給水栓	-	4/年	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類	2	2	2	2	
中分類	9	10	12	13	
項目名	フタル酸ジ(2-エチル ヘキシル)	亜塩素酸	二酸化塩素	ジクロロアセトニトリル	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.08	0.6	0.6	0.01(暫定)	
公定法(または通知法)	SE-GC-MS	IC	IC	SE-GC-MS	
本市測定法	SE-GC-MS	IC	IC	SE-GC-MS	
検査の省略・優先度	原水の状況	資機・薬品	資機・薬品	高	
測定 結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	-	-	-	
	原水(最大値)	-	-	-	
	浄水(平均値)	<0.006	-	-	<0.001
	浄水(最大値)	<0.006	-	-	<0.001
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	<0.001
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	<0.001
最小記入値(mg/L)	0.006			0.001	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	-	-	-	
支川	-	-	-	-	
事業所	-	-	-	-	
原水	-	-	-	-	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	1/年	-	-	6/年	
市内給水栓	-	-	-	6/年	
測定頻度の変更	変更なし			変更なし	
備考		二酸化塩素使用施設 のみ	二酸化塩素使用施設 のみ		
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類	2	2	2	2	
中分類	14	15	16	17	
項目名	抱水クロラール	農薬類	残留塩素	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.02(暫定)	1	1	10~100	
公定法(または通知法)	SE-GC-MS		DPD/AS/Elec etc	AAS/Tit/ICP/IC	
本市測定法	SE-GC-MS		DPD	ICP-MS/Tit	
検査の省略・優先度	高	高	消毒	原水の状況	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	-	0	-	41
	原水(最大値)	-	0	-	45
	浄水(平均値)	<0.001	0	0.58	41
	浄水(最大値)	<0.001	0	0.93	45
	給水栓水(平均値)	<0.001	-	0.47	-
	給水栓水(最大値)	0.002	-	0.74	-
最小記入値(mg/L)	0.001	0.01	0.05	1	
特記事項			DPD法	EDTA法	
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	-	6/年	-	-	
支川	-	4/年	-	-	
事業所	-	-	-	-	
原水	-	5/年	-	4/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	6/年	5/年	1/日	4/年	
市内給水栓	6/年	-	1/月	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考		項目数変更		Ca,Mgは計算で算出	
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	2	2	2	2	
中分類	18	19	20	21	
項目名	マンガン及びその化合物	遊離炭酸	1,1,1-トリクロロエタン	メチル-t-ブチルエーテル(MTBE)	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.01	20	0.3	0.02	
公定法(または通知法)	FAAS/AAS/ICP/ICP-MS	Tit	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	
本市測定法	ICP-MS/FAAS	Tit	PT-GC-MS/HS-GC-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	
検査の省略・優先度	原水の状況	原水の状況	原水の状況	省略可	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	0.040	-	<0.003	<0.0002
	原水(最大値)	0.220	-	<0.003	<0.0002
	浄水(平均値)	<0.001	2.4	<0.003	<0.0002
	浄水(最大値)	0.007	4.4	<0.003	<0.0002
	給水栓水(平均値)	<0.001	-	-	-
	給水栓水(最大値)	0.004	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.001	0.5	0.003	0.0002	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	1/月	-	6/年	-	
支川	6/年	-	6/年	-	
事業所	4/年	-	2/年	-	
原水	1/週	-	6/年	6/年	
沈殿水	1/週	-	-	-	
ろ過水	1/週	-	-	-	
GAC吸着水	1/週	-	-	-	
浄水	1/週	4/年	6/年	6/年	
市内給水栓	4/年	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	2	2	2	2	
中分類	22	23	24	25	
項目名	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	臭気強度(TON)	蒸発残留物	濁度	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	3	3TON	30~200	1度	
公定法(または通知法)	Tit	官能法	Weight	比濁法・光電光度法	
本市測定法	Tit	官能法	Weight	比濁法・光電光度法	
検査の省略・優先度	高	原水の状況	原水の状況	原水の状況	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	6.0	-	93	7.0
	原水(最大値)	70.0	-	114	250
	浄水(平均値)	1.0	1.0	97	<0.1
	浄水(最大値)	2.2	1.0	120	<0.1
	給水栓水(平均値)	-	-	-	<0.1
	給水栓水(最大値)	-	-	-	<0.1
最小記入値(mg/L)	0.2	1	1	0.5(比濁法),0.1(光電光度法)	
特記事項	硫酸酸性法(煮沸5分間)				
琵琶湖	1/月	-	-	1/月	
本川	1/月	-	-	1/月	
支川	6/年	-	-	6/年	
事業所	4/年	-	-	4/年	
原水	1/日	-	4/年	1/日	
沈殿水	1/月	-	-	1/日(休日除く)	
ろ過水	1/月	-	-	1/日(休日除く)	
GAC吸着水	1/月	-	-	1/日(休日除く)	
浄水	1/日	1/月	4/年	1/日	
市内給水栓	-	-	-	1/月	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考				ろ過水以降は、光電光度法	
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	2	2	2	2	
中分類	26	27	28	29	
項目名	pH値	腐食性(ランゲリア指数)	従属栄養細菌	1,1-ジクロロエチレン	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	7.5	-1~0	2000個/mL (暫定)	0.1	
公定法(または通知法)	EL	計算法	R2A寒天培地法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	
本市測定法	EL	計算法	R2A寒天培地法	PT-GC-MS/HS-GC-MS	
検査の省略・優先度	原水の状況	原水の状況	消毒	省略可(地下水のみ不可)	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	7.4	-	-	<0.001
	原水(最大値)	8.3	-	-	<0.001
	浄水(平均値)	7.5	-1.3	0	<0.001
	浄水(最大値)	7.8	-0.9	1.0	<0.001
	給水栓水(平均値)	7.6	-	0	-
	給水栓水(最大値)	7.9	-	22.0	-
最小記入値(mg/L)	0.1	0.1	0	0.001	
特記事項					
琵琶湖	1/月	-	-	-	
本川	1/月	-	-	6/年	
支川	6/年	-	-	6/年	
事業所	4/年	-	-	2/年	
原水	1/日	-	-	6/年	
沈殿水	1/日(休日除く)	-	-	-	
ろ過水	1/日(休日除く)	-	-	-	
GAC吸着水	1/日(休日除く)	-	-	-	
浄水	1/日	4/年	1/月	6/年	
市内給水栓	1/月	-	4/年	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)					
農薬種類					

大分類	2	2	2	2	
中分類	30	15	15	15	
項目名	アルミニウム及びその化合物	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	2,2-DPA(ダラポン)	2,4-D(2,4-PA)	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.1	0.05	0.08	0.02	
公定法(または通知法)	FAAS/ICP/ICP-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	LC-MS	SA-LC-MS(Nega)/SA-MOD-GC-MS	
本市測定法	ICP-MS	PT-GC-MS/HS-GC-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	資機材・薬品	高	高	高	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	0.08	<0.0005	<0.0008	<0.0003
	原水(最大値)	0.30	<0.0005	<0.0008	<0.0003
	浄水(平均値)	<0.01	<0.0005	<0.0008	<0.0003
	浄水(最大値)	0.02	<0.0005	<0.0008	<0.0003
	給水栓水(平均値)	<0.01	-	-	-
	給水栓水(最大値)	0.02	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.01	0.0005	0.0008	0.0002	
特記事項		シス体及びトランス体の濃度を合算			
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	-	6/年	6/年	6/年	
支川	-	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	4/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	1/月	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	4/年	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考			失効農薬		
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)		40.6	-	10.4	
農薬種類		殺虫剤	除草剤	除草剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	EPN	MCPA	アシュラム	アセフェート	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.004	0.005	0.9	0.006	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	LC-MS	SA-LC-MS/SA-HPLC	LC-MS	
本市測定法	SA-GC-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.00004	<0.0001	<0.002	<0.00006
	原水(最大値)	<0.00004	<0.0001	<0.002	<0.00006
	浄水(平均値)	<0.00004	<0.0001	<0.002	<0.00006
	浄水(最大値)	<0.00004	<0.0001	<0.002	<0.00006
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.00004	0.00005	0.002	0.00006	
特記事項	オキソソン体も測定し、 原体に換算して合算				
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	本川、支川を増加	変更なし	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	0.0	3.7	10.9	15.8	
農薬種類	殺虫剤	除草剤	除草剤	殺虫剤	

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		アトラジン	アニロホス	アミラズ	アラクロール
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.01	0.003	0.006	0.03
公定法(または通知法)		SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS	SA-GC-MS
本市測定法		SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度		高	高	高	高
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.0001	<0.0002	<0.00006	<0.0001
	原水(最大値)	<0.0001	<0.0002	<0.00006	<0.0001
	浄水(平均値)	<0.0001	<0.0002	<0.00006	<0.0001
	浄水(最大値)	<0.0001	<0.0002	<0.00006	<0.0001
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)		0.0001	0.00003	0.00006	0.0001
特記事項					
琵琶湖		-	-	-	-
本川		6/年	6/年	2/年	6/年
支川		4/年	4/年	2/年	4/年
事業所		-	-	-	-
原水		5/年	5/年	5/年	5/年
沈殿水		-	-	-	-
ろ過水		-	-	-	-
GAC吸着水		-	-	-	-
浄水		5/年	5/年	5/年	5/年
市内給水栓		-	-	-	-
測定頻度の変更		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
備考			失効農薬		
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)		0.5	-	0.2	1.5
農薬種類		除草剤	除草剤	殺虫剤	除草剤

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	イソキサチオン	イソフェンホス	イソプロカルブ(MIPC)	イソプロチオラン(IPT)	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.005	0.001	0.01	0.3	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.00008	<0.00005	<0.0001	<0.003
	原水(最大値)	<0.00008	<0.00005	<0.0001	<0.003
	浄水(平均値)	<0.00008	<0.00005	<0.0001	<0.003
	浄水(最大値)	<0.00008	<0.00005	<0.0001	<0.003
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.00005	0.00001	0.0001	0.003	
特記事項	オキソソ体も測定し、 原体に換算して合算	オキソソ体も測定し、 原体に換算して合算			
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	
備考		失効農薬			
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	1.6	-	-	4.6	
農薬種類	殺虫剤	殺虫剤	殺虫剤	殺虫剤・殺菌剤・植物 成長調整剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	イプロベンホス(IBP)	イミノクタジン	インダノファン	エスプロカルブ	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.09	0.006	0.009	0.03	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-POST-HPLC/SE-POST-HPLC/SA-LC-MS	SA-GC-MS/LC-MS	SA-GC-MS	
本市測定法	SA-GC-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	SA-GC-MS	
検査の省略・優先度	高	低	高	高	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.0002	-	<0.00009	<0.0003
	原水(最大値)	<0.0002	-	<0.00009	<0.0003
	浄水(平均値)	<0.0002	-	<0.00009	<0.0003
	浄水(最大値)	<0.0002	-	<0.00009	<0.0003
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.0002	0.00006	0.00009	0.0003	
特記事項		H31年度より測定			
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	2/年	6/年	6/年	
支川	4/年	2/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	H31年度より測定を実施	本川、支川を増加	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	2.1	1.9	0.3	0.2	
農薬種類	殺菌剤	殺菌剤	除草剤	除草剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	エトフェンプロックス	エンドスルファン(ベンゾエピン)	オキサジクロメホン	オキシシン銅	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.08	0.01	0.02	0.03	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	SA-LC-MS/LC-MS	
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.0008	<0.0001	<0.0002	<0.0005
	原水(最大値)	<0.0008	<0.0001	<0.0002	<0.0005
	浄水(平均値)	<0.0008	<0.0001	<0.0002	<0.0005
	浄水(最大値)	<0.0008	<0.0001	<0.0002	<0.0005
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.0008	0.0001	0.0002	0.0003	
特記事項		体、体及び代謝物を測定し原体に換算して合算			
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	本川、支川を増加	変更なし	
備考		失効農薬			
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	3.5	-	0.7	4.4	
農薬種類	殺虫剤	殺虫剤	除草剤	殺菌剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	オリサストロピン	カズサホス	カフェンストロール	カルタップ	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.1	0.0006	0.008	0.3	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	
本市測定法	LC-MS-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.001	<0.000006	<0.00008	<0.003
	原水(最大値)	<0.001	0.000007	<0.00008	<0.003
	浄水(平均値)	<0.001	<0.000006	<0.00008	<0.003
	浄水(最大値)	<0.001	<0.000006	<0.00008	<0.003
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.001	0.000006	0.00008	0.003	
特記事項		H27年度より測定		H27年度より測定 分解物(ネライストキシ ン)として測定し換算	
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	4/年	6/年	4/年	
支川	4/年	2/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	本川、支川を増加	測定を実施	変更なし	測定を実施	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	0.3	0.2	3.6	4.5	
農薬種類	殺菌剤	殺虫剤	除草剤	殺虫剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	カルバリル(NAC)	カルボフラン	キノクラミン(ACN)	キャプタン	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.02	0.005	0.005	0.3	
公定法(または通知法)	SA-LC-MS/SA-HPLC/Post-HPLC	SA-LC-MS/Post-HPLC	SA-GC-MS	SA-GC-MS	
本市測定法	LC-MS-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	SA-GC-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.0005	<0.00005	<0.00005	<0.003
	原水(最大値)	<0.0005	<0.00005	<0.00005	<0.003
	浄水(平均値)	<0.0005	<0.00005	<0.00005	<0.003
	浄水(最大値)	<0.0005	<0.00005	<0.00005	<0.003
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.0002	0.00005	0.00005	0.003	
特記事項			H27年度より測定		
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	測定を実施	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	0.9	0.2	4.4	2.9	
農薬種類	殺虫剤	殺虫剤	除草剤	殺菌剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	クミルロン	グリホサート	グルホシネート	クロメプロップ	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.03	2	0.02	0.02	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS/LC-MS	Post-HPLC/MOD-HPLC/MOD-SA-LC-MS	MOD-SA-LC-MS	LC-MS	
本市測定法	LC-MS-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.0003	<0.02	<0.002	<0.0002
	原水(最大値)	<0.0003	<0.02	<0.002	<0.0002
	浄水(平均値)	<0.0003	<0.02	<0.002	<0.0002
	浄水(最大値)	<0.0003	<0.02	<0.002	<0.0002
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.0003	0.02	0.0002	0.0002	
特記事項		アミノメチルリン酸(AMPA)も測定し原体に換算して合算			
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	4/年	4/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	本川を増加	変更なし	本川、支川を増加	本川、支川を増加	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	0.0	346.5	14.0	0.8	
農薬種類	除草剤	除草剤	除草剤	除草剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	クロルニトロフェン (CNP)	クロルピリホス	クロロタロニル(TPN)	シアナジン	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.0001	0.003	0.05	0.001	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS/LC-MS	
本市測定法	SA-GC-MS	LC-MS-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定 結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.0001	<0.00005	<0.0005	<0.00003
	原水(最大値)	<0.0001	0.00016	<0.0005	<0.00003
	浄水(平均値)	<0.0001	<0.00005	<0.0005	<0.00003
	浄水(最大値)	<0.0001	<0.00005	<0.0005	<0.00003
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.00001	0.00003	0.0005	0.00001	
特記事項	アミノ体も測定し原体 に換算して合算				
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	本川、支川を増加	
備考	失効農薬				
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	-	0.3	11.5	4.3	
農薬種類	除草剤	殺虫剤	殺菌剤	除草剤	

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	シアノホス(CYAP)	ジウロン(DCMU)	ジクロベニル(DBN)	ジクロルボス(DDVP)	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.003	0.02	0.03	0.008	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-LC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	
本市測定法	SA-GC-MS	LC-MS-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.00003	<0.0002	<0.0001	<0.00008
	原水(最大値)	<0.00003	<0.0002	<0.0001	<0.00008
	浄水(平均値)	<0.00003	<0.0002	<0.0001	<0.00008
	浄水(最大値)	<0.00003	<0.0002	<0.0001	<0.00008
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.00003	0.0002	0.0001	0.00008	
特記事項	H27年度より測定				
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	測定を実施	変更なし	変更なし	変更なし	
備考				失効農薬	
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	0.4	7.4	6.9	-	
農薬種類	殺虫剤	除草剤	除草剤	殺虫剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	ジクワット	ジスルホトン(エチルチオメトン)	ジチオカルバメート系農薬	ジチオピル	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.005	0.004	0.005(二硫化炭素として)	0.009	
公定法(または通知法)	SA-LC-MS/SA-HPLC	SA-GC-MS	HS-GC-MS	SA-GC-MS	
本市測定法	LC-MS-MS	LC-MS-MS	HS-GC-MS	SA-GC-MS	
検査の省略・優先度	低	高	高	高	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	-	<0.00004	-	<0.00009
	原水(最大値)	-	<0.00004	-	<0.00009
	浄水(平均値)	-	<0.00004	-	<0.00009
	浄水(最大値)	-	<0.00004	-	<0.00009
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.00005	0.00004	0.00005	0.00009	
特記事項	H31年度より測定		H30年度より測定		
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	4/年	6/年	4/年	6/年	
支川	2/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	H31年度より測定を実施	変更なし	H30年度より測定を実施	変更なし	
備考		失効農薬			
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	3.4	-	50.9	0.4	
農薬種類	除草剤	殺虫剤	殺菌剤	除草剤	

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	シハロホップブチル	シマジン(CAT)	ジメタメトリン	ジメトエート	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.006	0.003	0.02	0.05	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.00006	<0.00003	<0.0002	<0.0005
	原水(最大値)	<0.00006	<0.00003	<0.0002	<0.0005
	浄水(平均値)	<0.00006	<0.00003	<0.0002	<0.0005
	浄水(最大値)	<0.00006	<0.00003	<0.0002	<0.0005
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.00006	0.00003	0.0002	0.0005	
特記事項	H29年度より測定				
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	測定を実施	変更なし	変更なし	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	1.9	0.2	0.5	0.0	
農薬種類	除草剤	除草剤	除草剤	殺虫剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	シメトリン	ダイアジノン	ダイムロン	ダゾメット、メタム(カーバム)及びメチルイソチオシアネート	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.03	0.003	0.8	0.01(メチルイソチオシアネートとして)	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-LC-MS	PT-GC-MS	
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	HS-GC-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.0003	<0.0001	<0.008	-
	原水(最大値)	<0.0003	<0.0001	<0.008	-
	浄水(平均値)	<0.0003	<0.0001	<0.008	-
	浄水(最大値)	<0.0003	<0.0001	<0.008	-
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.0003	0.00003	0.008	0.0001	
特記事項		オキソン体も測定し、 原体に換算して合算		H30年度より測定	
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	4/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	H30年度より測定を実施	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	0.1	14.2	10.1	82.7	
農薬種類	除草剤	殺虫剤	除草剤	殺菌剤	

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	チアジニル	チウラム	チオジカルブ	チオファネートメチル	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.1	0.02	0.08	0.3	
公定法(または通知法)	LC-MS	SA-LC-MS	SA-LC-MS	SA-LC-MS/SA-HPLC	
本市測定法	LC-MS-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.001	<0.001	<0.0008	<0.003
	原水(最大値)	<0.001	<0.001	<0.0008	<0.003
	浄水(平均値)	<0.001	<0.001	<0.0008	<0.003
	浄水(最大値)	<0.001	<0.001	<0.0008	<0.003
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.001	0.0002	0.0008	0.003	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	本川、支川を増加	変更なし	変更なし	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	4.3	6.0	0.7	11.9	
農薬種類	殺菌剤	殺菌剤	殺虫剤	殺菌剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	チオベンカルブ	テフリルトリオン	テルブカルブ (MBPMC)	トリクロピル	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.02	0.002	0.02	0.006	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-LC-MS/SA-HPLC	SA-GC-MS	SA-LC-MS/SA-MOD-GC-MS	
本市測定法	SA-GC-MS	LC-MS-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0001
	原水(最大値)	<0.0002	0.0004	<0.0002	<0.0001
	浄水(平均値)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0001
	浄水(最大値)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0001
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.0002	0.00002	0.0002	0.0001	
特記事項		H29年度より測定			
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	4/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	測定を実施	変更なし	変更なし	
備考			失効農薬		
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	14.4	6.2	-	0.7	
農薬種類	除草剤	除草剤	除草剤	除草剤	

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		トリクロロホン(DEP)	トリシクラゾール	トリフルラリン	ナプロパミド
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.005	0.1	0.06	0.03
公定法(または通知法)		SA-GC-MS	SA-LC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法		LC-MS-MS	LC-MS-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度		高	高	高	高
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.0005	<0.0008	<0.0006	<0.0003
	原水(最大値)	<0.0005	<0.0008	<0.0006	<0.0003
	浄水(平均値)	<0.0005	<0.0008	<0.0006	<0.0003
	浄水(最大値)	<0.0005	<0.0008	<0.0006	<0.0003
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)		0.00005	0.0008	0.0006	0.0003
特記事項					
琵琶湖		-	-	-	-
本川		6/年	6/年	6/年	6/年
支川		4/年	4/年	4/年	4/年
事業所		-	-	-	-
原水		5/年	5/年	5/年	5/年
沈殿水		-	-	-	-
ろ過水		-	-	-	-
GAC吸着水		-	-	-	-
浄水		5/年	5/年	5/年	5/年
市内給水栓		-	-	-	-
測定頻度の変更		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)		1.9	2.1	9.2	0.0
農薬種類		殺虫剤	殺菌剤	除草剤	除草剤

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	パラコート	ピペロホス	ピラクロニル	ピラゾキシフェン	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.005	0.0009	0.01	0.004	
公定法(または通知法)	SA-LC-MS	SA-GC-MS	LC-MS	SA-GC-MS	
本市測定法	LC-MS-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	-	<0.00003	<0.0001	<0.00004
	原水(最大値)	-	<0.00003	0.0004	<0.00004
	浄水(平均値)	-	<0.00003	<0.0001	<0.00004
	浄水(最大値)	-	<0.00003	<0.0001	<0.00004
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.00005	0.000009	0.0001	0.00004	
特記事項	H31年度より測定			H27年度より測定	
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	2/年	6/年	4/年	6/年	
支川	2/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	H31年度より測定を実施	変更なし	本川、支川を増加	測定を実施	
備考		失効農薬			
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	2.3	-	8.0	0.1	
農薬種類	除草剤	除草剤	除草剤	除草剤	

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	ピラゾリネート(ピラゾレート)	ピリダフェンチオン	ピリプチカルブ	ピロキロン	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.02	0.002	0.02	0.05	
公定法(または通知法)	LC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	
本市測定法	LC-MS-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.0002	<0.00005	<0.0002	<0.0004
	原水(最大値)	<0.0002	<0.00005	<0.0002	<0.0004
	浄水(平均値)	<0.0002	<0.00005	<0.0002	<0.0004
	浄水(最大値)	<0.0002	<0.00005	<0.0002	<0.0004
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.0002	0.00002	0.0002	0.0004	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	本川、支川を増加	変更なし	変更なし	変更なし	
備考		失効農薬			
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	9.2	-	0.0	14.4	
農薬種類	除草剤	殺虫剤	除草剤	殺菌剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	フィプロニル	フェニトロチオン(MEP)	フェノブカルブ(BPMC)	フェリムゾン	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.0005	0.01	0.03	0.05	
公定法(または通知法)	SA-LC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS	
本市測定法	LC-MS-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.00001	<0.0002	<0.0003	<0.0005
	原水(最大値)	0.00003	<0.0002	<0.0003	<0.0005
	浄水(平均値)	<0.00001	<0.0002	<0.0003	<0.0005
	浄水(最大値)	<0.00001	<0.0002	<0.0003	<0.0005
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.000005	0.0001	0.0003	0.0005	
特記事項		オキソソ体も測定し、 原体に換算して合算		H27年度より測定	
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	2/年	
支川	4/年	4/年	4/年	2/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	測定を実施	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	0.0	19.4	4.2	2.4	
農薬種類	殺虫剤	殺虫剤	殺虫剤	殺菌剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	フェンチオン(MPP)	フェントエート(PAP)	フェントラザミド	フサライド	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.006	0.007	0.01	0.1	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS/SA-LC-MS	SA-GC-MS	LC-MS	SA-GC-MS	
本市測定法	LC-MS-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	SA-GC-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.0002	<0.00007	<0.0001	<0.001
	原水(最大値)	0.0004	<0.00007	<0.0001	<0.001
	浄水(平均値)	<0.0002	<0.00007	<0.0001	<0.001
	浄水(最大値)	<0.0002	<0.00007	<0.0001	<0.001
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.00006	0.00007	0.0001	0.001	
特記事項	酸化物も測定し、原体に換算して合算				
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	本川、支川を増加	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	0.0	1.1	1.2	2.1	
農薬種類	殺虫剤	殺虫剤	除草剤	殺菌剤	

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		ブタクロール	ブタミホス	ブプロフェジン	フルアジナム
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.03	0.02	0.02	0.03
公定法(または通知法)		SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS
本市測定法		SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS
検査の省略・優先度		高	高	高	高
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.0003	<0.0002	<0.0002	<0.0003
	原水(最大値)	<0.0003	<0.0002	<0.0002	<0.0003
	浄水(平均値)	<0.0003	<0.0002	<0.0002	<0.0003
	浄水(最大値)	<0.0003	<0.0002	<0.0002	<0.0003
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)		0.0003	0.0002	0.0002	0.0003
特記事項			オキソン体も測定し、 原体に換算して合算		
琵琶湖		-	-	-	-
本川		6/年	6/年	6/年	2/年
支川		4/年	4/年	4/年	2/年
事業所		-	-	-	-
原水		5/年	5/年	5/年	5/年
沈殿水		-	-	-	-
ろ過水		-	-	-	-
GAC吸着水		-	-	-	-
浄水		5/年	5/年	5/年	5/年
市内給水栓		-	-	-	-
測定頻度の変更		本川、支川を増加	変更なし	変更なし	変更なし
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)		3.4	1.1	2.9	1.4
農薬種類		除草剤	除草剤	殺虫剤	殺菌剤

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	プレチラクロール	プロシミドン	プロチオホス	プロピコナゾール	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.05	0.09	0.004	0.05	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.0005	<0.0009	<0.00004	<0.0005
	原水(最大値)	<0.0005	<0.0009	<0.00004	<0.0005
	浄水(平均値)	<0.0005	<0.0009	<0.00004	<0.0005
	浄水(最大値)	<0.0005	<0.0009	<0.00004	<0.0005
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.0005	0.0009	0.00004	0.0005	
特記事項			H27年度より測定 オキソン体も測定し、 原体に換算して合算		
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	4/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	測定を実施	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	6.9	0.1	1.6	0.7	
農薬種類	除草剤	殺菌剤	殺虫剤	殺菌剤	

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		プロピザミド	プロベナゾール	プロモブチド	ベノミル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.05	0.03	0.1	0.02
公定法(または通知法)		SA-GC-MS	SA-LC-MS	SA-GC-MS	SA-LC-MS
本市測定法		SA-GC-MS	LC-MS-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS
検査の省略・優先度		高	高	高	高
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.0002
	原水(最大値)	<0.0005	<0.0005	0.002	<0.0002
	浄水(平均値)	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.0002
	浄水(最大値)	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.0002
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)		0.0005	0.0003	0.001	0.0002
特記事項					分解物(MBC)として測定し換算
琵琶湖		-	-	-	-
本川		6/年	6/年	6/年	6/年
支川		4/年	4/年	4/年	4/年
事業所		-	-	-	-
原水		5/年	5/年	5/年	5/年
沈殿水		-	-	-	-
ろ過水		-	-	-	-
GAC吸着水		-	-	-	-
浄水		5/年	5/年	5/年	5/年
市内給水栓		-	-	-	-
測定頻度の変更		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)		2.9	30.8	35.1	2.1
農薬種類		除草剤	殺菌剤	除草剤	殺菌剤

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	ペンシクロン	ベンゾピシクロン	ベンゾフェナップ	ペントゾン	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.1	0.09	0.005	0.2	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	LC-MS	LC-MS	SA-LC-MS/SA-MOD-GC-MS	
本市測定法	LC-MS-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.001	<0.0009	<0.0001	<0.002
	原水(最大値)	<0.001	<0.0009	<0.0001	<0.002
	浄水(平均値)	<0.001	<0.0009	<0.0001	<0.002
	浄水(最大値)	<0.001	<0.0009	<0.0001	<0.002
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.001	0.0009	0.00005	0.002	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	4/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	本川、支川を増加	本川、支川を増加	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	4.8	5.5	2.2	22.4	
農薬種類	殺菌剤	除草剤	除草剤	除草剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	ペンディメタリン	ベンフラカルブ	ベンフルラリン(ベスロジン)	ベンフレセート	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.3	0.04	0.01	0.07	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-LC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	
本市測定法	SA-GC-MS	LC-MS-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.001	<0.0004	<0.0001	<0.0007
	原水(最大値)	<0.001	<0.0004	<0.0001	<0.0007
	浄水(平均値)	<0.001	<0.0004	<0.0001	<0.0007
	浄水(最大値)	<0.001	<0.0004	<0.0001	<0.0007
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.001	0.0004	0.0001	0.0007	
特記事項		分解物(カルボフラン)として測定し換算			
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	変更なし	本川、支川を増加	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	2.7	2.6	0.2	0.9	
農薬種類	除草剤	殺虫剤	除草剤	除草剤	

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	ホスチアゼート	マラチオン(マラソン)	メコプロップ(MCPP)	メソミル	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.003	0.7	0.05	0.03	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-LC-MS/SA-MOD-GC-MS	SA-LC-MS/Post-HPLC	
本市測定法	LC-MS-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27~29年度)	原水(平均値)	<0.00003	<0.0005	<0.00005	<0.0003
	原水(最大値)	<0.00003	<0.0005	0.00006	<0.0003
	浄水(平均値)	<0.00003	<0.0005	<0.00005	<0.0003
	浄水(最大値)	<0.00003	<0.0005	<0.00005	<0.0003
	給水栓水(平均値)	-	-	-	-
	給水栓水(最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.00003	0.0005	0.00005	0.0003	
特記事項	H27年度より測定	オキソン体も測定し、 原体に換算して合算			
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	4/年	6/年	6/年	6/年	
支川	2/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	測定を実施	変更なし	変更なし	変更なし	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	0.8	4.9	7.1	3.5	
農薬種類	殺虫剤	殺虫剤	除草剤	殺虫剤	

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類	2	2	2	2	
中分類	15	15	15	15	
項目名	メタラキシル	メチダチオン(DMTP)	メトミノストロピン	メトリブジン	
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	
基準値・評価値(mg/L)	0.2	0.004	0.04	0.03	
公定法(または通知法)	SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS/LC-MS	SA-GC-MS/LC-MS	
本市測定法	SA-GC-MS	SA-GC-MS	LC-MS-MS	LC-MS-MS	
検査の省略・優先度	高	高	高	高	
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.0006	<0.00004	<0.0004	<0.0003
	原水(最大値)	<0.0006	<0.00004	<0.0004	<0.0003
	浄水(平均値)	<0.0006	<0.00004	<0.0004	<0.0003
	浄水(最大値)	<0.0006	<0.00004	<0.0004	<0.0003
	給水栓水 (平均値)	-	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-	-
最小記入値(mg/L)	0.0006	0.00004	0.0004	0.0003	
特記事項					
琵琶湖	-	-	-	-	
本川	6/年	6/年	6/年	6/年	
支川	4/年	4/年	4/年	4/年	
事業所	-	-	-	-	
原水	5/年	5/年	5/年	5/年	
沈殿水	-	-	-	-	
ろ過水	-	-	-	-	
GAC吸着水	-	-	-	-	
浄水	5/年	5/年	5/年	5/年	
市内給水栓	-	-	-	-	
測定頻度の変更	変更なし	変更なし	本川を増加	本川を増加	
備考					
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)	1.3	5.8	3.2	0.0	
農薬種類	殺菌剤	殺虫剤	殺菌剤	除草剤	

検査対象項目調書(その1)

参考資料1.1

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		メフェナセット	メプロニル	モリネート
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.02	0.1	0.005
公定法(または通知法)		SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
本市測定法		SA-GC-MS	SA-GC-MS	SA-GC-MS
検査の省略・優先度		高	高	高
測定結果 (平成27 ~29年 度)	原水(平均値)	<0.0002	<0.001	<0.00005
	原水(最大値)	<0.0002	<0.001	0.00006
	浄水(平均値)	<0.0002	<0.001	<0.00005
	浄水(最大値)	<0.0002	<0.001	<0.00005
	給水栓水 (平均値)	-	-	-
	給水栓水 (最大値)	-	-	-
最小記入値(mg/L)		0.0002	0.001	0.00005
特記事項				
琵琶湖		-	-	-
本川		6/年	6/年	6/年
支川		4/年	4/年	4/年
事業所		-	-	-
原水		5/年	5/年	5/年
沈殿水		-	-	-
ろ過水		-	-	-
GAC吸着水		-	-	-
浄水		5/年	5/年	5/年
市内給水栓		-	-	-
測定頻度の変更		変更なし	変更なし	変更なし
備考				
農薬近畿出荷量(t) (平成29年度)		5.7	0.4	3.2
農薬種類		除草剤	殺菌剤	除草剤

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		1	1	1	1
中分類		1	2	3	4
項目名		一般細菌	大腸菌	カドミウム及びその化合物	水銀及びその化合物
分類		水質基準	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)		100個/ml	不検出	0.003	0.0005
発生源	水源 ¹⁾	「-」生活排水・畜産排水・下水・土砂採取・降雨底泥巻き上げ	「-」生活排水・畜産排水・下水・土砂採取・降雨底泥巻き上げ	「PRTR」工場排水	「PRTR」工場排水
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	糞便汚染等の指標	糞便汚染の指標	急性、慢性、発がん(G1)	急性、慢性、発がんなし(G3、ただしメチル水銀はG2B)
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・実態把握存在すると想定	定期測定・実態把握存在すると想定	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定		
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・塩素処理・オゾン処理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・塩素処理・オゾン処理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・取水停止	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・取水停止
	配給水	・残留塩素濃度管理	・残留塩素濃度管理		
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	108/108	108/108	0/36	0/36
	浄水	0/4383	0/4384	0/48	0/48
	給水栓水	0/756	0/756	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類	1		1		1		1	
中分類	5		6		7		8	
項目名	セレン及びその化合物		鉛及びその化合物		ヒ素及びその化合物		六価クロム化合物	
分類	水質基準		水質基準		水質基準		水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	0.01		0.01		0.01		0.05	
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(塗料・ハイオクガソリン)		「PRTR」工場排水・自然負荷		「PRTR」工場排水	
	浄水場							
	配給水		鉛管					
影響	健康影響 ²⁾	慢性、発がんなし(G3)	慢性、発がん(金属:G2 B、無機化合物:G2 A、有機化合物G3)		急性、慢性、発がん(G1)		急性、慢性、発がん(G1)	
	快適性・利水障害							
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 トレンド分析		定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備		定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	
	浄水場	定期測定	定期測定		定期測定		定期測定	
	配給水		定期測定				定期測定	
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策		・水源水質保全策		・水源水質保全策	
	浄水場	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・取水停止	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・取水停止		・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・取水停止		・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・取水停止	
	配給水		・鉛給水管対策					
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/36	0/36		10/36		0/36	
	浄水	0/48	0/48		0/48		0/48	
	給水栓水	-	39/252		-		0/252	
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討			実施					
「水質管理計画」における対応		変更なし	鉛給水管対策と連携		変更なし		変更なし	

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類	1		1	1	1
中分類	9		10	11	12
項目名	亜硝酸態窒素		シアン化物イオン及び塩化シアン	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	フッ素及びその化合物
分類	水質基準		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.04		0.01	10	0.8
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷(肥料)	「PRTR」 工場排水	「-」 工場排水・下水・面源負荷(肥料)	「-」 工場排水・下水(添加物)・自然負荷
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	慢性	急性、慢性	急性(メトヘモグロビン血症)、発がん(代謝物G2A)	慢性(斑状歯)、発がんなし(G3)
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・負荷源分析 トレンド分析	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 トレンド分析	定期測定・負荷源分析 トレンド分析
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・砂ろ過処理・オゾン処理	・オゾン処理・塩素処理・取水停止	・取水停止	・凝集沈殿処理・取水停止
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	85/108	0/36	26/108	94/108
	浄水	0/144	0/48	56/144	94/144
	給水栓水	0/756	0/252	253/756	512/756
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				実施	実施
「水質管理計画」における対応	変更なし		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類	1		1		1		1	
中分類	13		14		15		16	
項目名	ホウ素及びその化合物		四塩化炭素		1,4-ジオキサン		シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	
分類	水質基準		水質基準		水質基準		水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	1.0		0.002		0.05		0.04	
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・自然負荷・海水遡上	「PRTR」 工場排水	「PRTR」 工場排水・下水	「PRTR」 工場排水・下水			
	浄水場							
	配給水							
影響	健康影響 ²⁾	慢性	慢性、発がん(G2B)	発がん(G2B)	急性、慢性			
	快適性・利水障害							
監視	水源	定期測定・負荷源分析 トレンド分析	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備			
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定			
	配給水							
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策			
	浄水場	・取水停止	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理・取水停止	・オゾン処理・取水停止	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理・取水停止			
	配給水							
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/36	0/54	0/54	0/54			
	浄水	0/48	0/72	0/72	0/72			
	給水栓水	-	-	-	-			
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討								
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし			

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		1	1	1	1
中分類		17	18	19	20
項目名		ジクロロメタン	テトラクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン
分類		水質基準	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)		0.02	0.01	0.01	0.01
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水	「PRTR」 工場排水・下水	「PRTR」 工場排水・下水	「PRTR」 工場排水・下水・水面利用
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	急性、慢性、発がん(G2A)	慢性、発がん(G2A)	慢性、発がん(G1)	急性、慢性、発がん(G1)
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理・取水停止	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理・取水停止	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理・取水停止	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理・取水停止
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27～29年度)	原水	0/54	0/54	0/54	0/54
	浄水	0/72	0/72	0/72	0/72
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

大分類	1	1	1	1
中分類	21	22	23	24
項目名	塩素酸	クロロ酢酸	クロロホルム	ジクロロ酢酸
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.6	0.02	0.06	0.03
発生源	水源 ¹⁾	-	「PRTR」工場排水	「PRTR」工場排水
	浄水場	次亜塩素酸ナトリウム中の不純物	塩素処理で副生	塩素処理で副生
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	急性	急性、慢性	慢性、発がん(G2B)
	快適性・利水障害			
監視	水源			定期測定・トレンド分析 総トリハロメタン生成能の挙動
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	定期測定
対応	水源		・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・次亜塩素酸ナトリウムの品質管理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27～29年度)	原水	-	-	-
	浄水	0/144	0/72	0/72
	給水栓水	9/756	0/378	9/378
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討	実施		実施	
「水質管理計画」における対応	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、-:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類	1	1	1	1	
中分類	25	26	27	28	
項目名	ジブromクロロメタン	臭素酸	総トリハロメタン	トリクロロ酢酸	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	0.1	0.01	0.1	0.03	
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水	「PRTR」(水溶性塩)下水(オゾン処理)	「-」	「PRTR」工場排水
	浄水場	塩素処理で副生	オゾン処理で副生 次亜塩素酸中の不純物	塩素処理で副生	塩素処理で副生
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	発がんなし(G3)	急性、慢性、発がん(G2B)	「クロロホルム」、「ジブromクロロメタン」、「ブromジクロロメタン」、「ブromホルム」の項参照	発がん(G2B)
	快適性・利水障害				
監視	水源	総トリハロメタン生成能の挙動	定期測定・トレンド分析	総トリハロメタン生成能の挙動	
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
対応	水源				
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン注入率の適正化・次亜塩素品質確認・オゾン処理におけるpH調整	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	-	0/108	-	-
	浄水	0/72	106/144	3/72	0/72
	給水栓水	5/378	535/756	161/378	0/378
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討	実施	実施 「浄水場水質管理計画」で対応を検討 (参考資料3.2)	実施		
「水質管理計画」における対応	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		1	1	1	1
中分類		29	30	31	32
項目名		プロモジクロロメタン	プロモホルム	ホルムアルデヒド	亜鉛及びその化合物
分類		水質基準	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)		0.03	0.09	0.08	1.0
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水	「PRTR」工場排水	「PRTR」工場排水・下水	「PRTR」工場排水・下水
	浄水場	塩素処理で副生	塩素処理で副生	オゾン処理で副生	
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	発がん(G2B)	急性、慢性、発がんなし(G3)	急性、慢性(水中について)、発がん(G1)	
	快適性・利水障害				基準:味覚・色の観点から
監視	水源	総トリハロメタン生成能の挙動	総トリハロメタン生成能の挙動		定期測定・負荷源分析 トレンド分析
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
対応	水源			・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	-	-	-	0/36
	浄水	5/72	0/72	0/72	0/48
	給水栓水	187/378	0/378	0/378	0/252
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討		実施			
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		1	1	1	1
中分類		33	34	35	36
項目名		アルミニウム及びその化合物	鉄及びその化合物	銅及びその化合物	ナトリウム及びその化合物
分類		水質基準	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)		0.2	0.3	1.0	200
発生源	水源 ¹⁾	「-」 自然由来・工場排水・下水	「PRTR」 工場排水・下水・降雨時 底泥巻き上げ	「PRTR」 工場排水・下水	「-」 工場排水・下水・自然負 荷・海水遡上
	浄水場	凝集剤・凝集不良	返送水		アルカリ剤
	配給水		給・配水管事故		
影響	健康影 響 ²⁾			急性、慢性	
	快適性・ 利水障 害	基準：着色の観点から	基準：味覚・着色防止の 観点から	基準：着色防止の観点 から	基準：味覚の観点から
監視	水源		定期測定・トレンド分 析 河川流況変化の把握	定期測定・負荷源分 析 トレンド分析	定期測定・トレンド分 析
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・凝集剤注入率の適正 化・凝集沈殿処理のpH 調整	・凝集沈殿処理・オゾン 処理・砂ろ過処理・塩素 処理		
	配給水		・配水管の維持管理		
(測定値が基準 値、目標値の10分 の1以上となった 回数) / 総測定回 数(平成27～29年 度)	原水	36/36	36/36	0/36	0/36
	浄水	2/144	0/48	0/48	5/48
	給水栓 水	12/252	0/252	0/252	33/252
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討		実施			実施
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」：環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」：PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1)：人に対して発がん性がある
 発がん(G2A)：人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B)：人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3)：人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4)：人に対する発がん性がない

出典：IARC(国際がん研究機関)
 による発がん性評価
 (平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類	1	1	1	1	
中分類	37	38	39	40	
項目名	マンガン及びその化合物	塩化物イオン	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	蒸発残留物	
分類	水質基準	水質基準	水質基準	水質基準	
基準値・評価値(mg/L)	0.05	200	300	500	
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・降雨時底泥巻き上げ	「-」工場排水・下水・自然負荷・海水遡上	「-」工場排水・下水・自然負荷・海水遡上	「-」自然由来・工場排水・下水・降雨時底泥巻き上げ
	浄水場	返送水・凝集不良		アルカリ剤	
	配給水	給・配水管			
影響	健康影響 ²⁾	急性、慢性			
	快適性・利水障害	基準：黒水障害防止の観点から	基準：味覚の観点から	基準：石鹼の泡立ち等への影響防止の観点から	基準：味覚の観点から
監視	水源	定期測定・トレンド分析 河川流況変化の把握	定期測定・トレンド分析		
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定		
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・凝集沈殿処理・オゾン処理・砂ろ過処理・塩素処理			・凝集沈殿処理・砂ろ過処理
	配給水	・配水管の維持管理			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27～29年度)	原水	467/467	0/108	36/36	36/36
	浄水	4/624	0/144	48/48	48/48
	給水栓水	0/252	0/756	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討	実施	実施	実施	実施	
「水質管理計画」における対応	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	

1)水源「PRTR」：環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」：PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1)：人に対して発がん性がある
 発がん(G2A)：人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B)：人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3)：人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4)：人に対する発がん性がない

出典：IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		1	1	1	1
中分類		41	42	43	44
項目名		陰イオン界面活性剤	ジオスミン	2-メチルイソボルネオール	非イオン界面活性剤
分類		水質基準	水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)		0.2	0.00001	0.00001	0.02
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・生活排水	「-」自然由来	「-」自然由来	「PRTR」工場排水・下水・生活排水
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾				
	快適性・利水障害	基準：発泡防止の観点から	基準：かび臭原因物質	基準：かび臭原因物質	基準：発泡防止の観点から
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・随時監視 連絡通報体制の整備	定期測定・随時監視 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	随時測定	随時測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定	定期測定	
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27～29年度)	原水	0/36	49/54	51/54	1/36
	浄水	0/48	0/72	0/72	0/48
	給水栓水	-	0/89	0/89	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類	1		1	1	1
中分類	45		46	47	48
項目名	フェノール類		有機物(全有機炭素(TOC)の量)	pH値	味
分類	水質基準		水質基準	水質基準	水質基準
基準値・評価値(mg/L)	0.005		3	5.8～8.6	異常でない
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水	「-」 自然由来・工場排水・下水・降雨時底泥巻き上げ	「-」 自然由来(湖沼・日照・滞留)・工場排水・下水・降雨時底泥巻き上げ	「-」 油事故他全てが影響
	浄水場			アルカリ剤	塩素処理
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	急性、発がんなし(G3)			
	快適性・利水障害	基準:臭味発生防止の観点から		基準:金属の腐食防止の観点から	基準:味覚
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・トレンド分析	定期測定
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水		定期測定	定期測定 水質TMIによる常時監視	定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理 ・塩素処理	・凝集沈殿処理・オゾン処理 ・砂ろ過処理・GAC処理	・酸またはアルカリ処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水			・配水管の維持管理	・配水管の維持管理
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27～29年度)	原水	0/36	2190/2190	0/3288	-
	浄水	0/48	2920/2920	0/4384	0/4384
	給水栓水	-	756/756	0/756	0/756
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討			実施		
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		1	1	1	2
中分類		49	50	51	1
項目名		臭気	色度	濁度	アンチモン及びその化合物
分類		水質基準	水質基準	水質基準	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		異常でない	5度	2度	0.02
発生源	水源 ¹⁾	「-」 油事故他全てが影響	「-」 全てが影響	「-」 全てが影響	「PRTR」 工場排水・下水
	浄水場	塩素処理	凝集不良	凝集不良	
	配給水		給・配水管事故	給・配水管事故	
影響	健康影響 ²⁾				急性、慢性、発がん(酸化物:G2B)
	快適性・利水障害	基準:臭気	浄水処理管理	浄水処理管理	
監視	水源	定期測定	定期測定・トレンド分析 河川流況変化の把握	定期測定・トレンド分析 河川流況変化の把握	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定	定期測定 水質TMによる常時監視	定期測定 水質TMによる常時監視	
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理・オゾン処理・GAC処理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理	
	配給水	・配水管路の適正管理	・配水管の維持管理	・配水管の維持管理	
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/3288	3288/3288	3288/3288	0/36
	浄水	0/4384	310/4384	0/4384	0/48
	給水栓水	0/756	29/756	0/756	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討			実施	実施	
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		2	3	5	8
項目名		ウラン及びその化合物	ニッケル及びその化合物	1,2-ジクロロエタン	トルエン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.002(暫定)	0.02	0.004	0.4
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水	「PRTR」 工場排水・下水	「PRTR」 工場排水	「PRTR」 工場排水・下水・水面利用
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾		急性、慢性、発がん(化合物: G1、金属: G2B)	慢性、発がん(G2B)	慢性、発がんなし(G3)
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・凝集沈殿処理	・凝集沈殿処理	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/36	1/36	0/54	0/54
	浄水	0/48	0/48	0/72	0/72
	給水栓水	-	20/252	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討			実施		
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		9	10	12	13
項目名		フタル酸ジ(2-エチル ヘキシル)	亜塩素酸	二酸化塩素	ジクロロアセトニトリル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.08	0.6	0.6	0.01(暫定)
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・生活排水			「 - 」
	浄水場				塩素処理で副生
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	慢性、発がん(G2B)	慢性、発がんなし(G3た だし亜塩素酸ナトリウム として)	慢性	発がんなし(G3)
	快適性・ 利水障 害				
監視	水源	定期測定・負荷源分 析 連絡通報体制の整備			
	浄水場	定期測定			定期測定
	配給水				定期測定
対応	水源	・水源水質保全策			
	浄水場	・凝集沈殿処理・砂ろ過 処理・GAC処理			・オゾン処理・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準 値、目標値の10分 の1以上となった 回数) / 総測定回 数(平成27～29年 度)	原水	-	-	-	-
	浄水	0/12	-	-	0/72
	給水栓 水	-	-	-	0/378
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討					実施
「水質管理計画」における 対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「 - 」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)
 による発がん性評価
 (平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類	2	2	2	2
中分類	14	15	16	17
項目名	抱水クロラール	農薬類	残留塩素	カルシウム、マグネシウム等(硬度)
分類	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)	0.02(暫定)	1	1	10~100
発生源	水源 ¹⁾	「-」	「PRTR」工場排水・下水・面源(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・自然負荷・海水遡上
	浄水場	塩素処理で副生		次亜塩素酸ナトリウムの注入
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	発がん(G2A)		
	快適性・利水障害			目標値超過で味、臭気に影響
監視	水源		定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定		定期測定 水質TMIによる常時監視
対応	水源		・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・高度浄水処理・残留塩素濃度の平準化
	配給水			・配水管の維持管理
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	-	5/45	-
	浄水	0/72	0/60	4384/4384
	給水栓水	17/378	-	756/756
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討	実施			実施
「水質管理計画」における対応	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		18	19	20	21
項目名		マンガン及びその化合物	遊離炭酸	1,1,1-トリクロロエタン	メチル-t-ブチルエーテル(MTBE)
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.01	20	0.3	0.02
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・降雨時底泥巻き上げ	「-」自然由来	「PRTR」工場排水・下水	「-」工場排水・下水・水面利用
	浄水場	返送水・凝集不良			
	配給水	給・配水管			
影響	健康影響 ²⁾			急性、発がんなし(G3)	発がんなし(G3)
	快適性・利水障害	目標値:より質の高い水道水の供給の観点から	目標値:味覚の観点から		
監視	水源	定期測定・トレンド分析 河川流況変化の把握		定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備	定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定			
対応	水源	・水源水質保全策		・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・凝集沈殿処理・オゾン処理・砂ろ過処理・塩素処理	・アルカリ剤添加	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理	・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理
	配給水	・配水管の維持管理			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	467/467	-	0/54	0/54
	浄水	123/624	29/48	0/72	0/72
	給水栓水	73/252	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討		実施 「浄水場水質管理計画」で対応を検討(参考資料3.2)	実施		
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし +BR46:BV46BR46:BW46

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		22	23	24	25
項目名		有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	臭気強度(TON)	蒸発残留物	濁度
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		3	3TON	30～200	1度
発生源	水源 ¹⁾	「-」 自然由来・工場排水・下水・降雨時底泥巻き上げ	「-」 油事故他全てが影響	「-」 自然由来・工場排水・下水・降雨時底泥巻き上げ	「-」 全てが影響
	浄水場		塩素処理		凝集不良
	配給水				給・配水管事故
影響	健康影響 ²⁾				
	快適性・利水障害		目標値:臭気の観点から	目標値:おいしい水の観点から	目標値:より質の高い水道水の供給の観点から
監視	水源	定期測定・トレンド分析			定期測定・トレンド分析 河川流況変化の把握
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定			定期測定
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策	・水源水質保全策
	浄水場	・凝集沈殿処理・オゾン処理・砂ろ過処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理	・凝集沈殿処理・砂ろ過処理
	配給水		・配水管の維持管理		・配水管の維持管理
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27～29年度)	原水	3288/3288	-	36/36	3288/3288
	浄水	4384/4384	144/144	48/48	0/4384
	給水栓水	-	-	-	0/756
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討		実施		実施	実施
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		26	27	28	29
項目名		pH値	腐食性(ランゲリア指数)	従属栄養細菌	1,1-ジクロロエチレン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		7.5	-1~0	2000個/mL (暫定)	0.1
発生源	水源 ¹⁾	「-」 自然由来(湖沼・日照・滞留)・工場排水・下水・降雨時底泥巻き上げ			「PRTR」 工場排水・下水
	浄水場	アルカリ剤			
	配給水				配水管内等での生物膜の形成などに起因
影響	健康影響 ²⁾				急性、慢性
	快適性・利水障害	目標値:より質の高い水道水の供給の観点から			水道施設の清浄度の指標
監視	水源	定期測定・トレンド分析			定期測定・負荷源分析 連絡通報体制の整備
	浄水場	定期測定			定期測定
	配給水	定期測定			定期測定
対応	水源	・水源水質保全策			・水源水質保全策
	浄水場	・酸またはアルカリ処理			・オゾン処理(エアレーション効果)・GAC処理・取水停止
	配給水	・配水管の維持管理			・残留塩素濃度管理
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/3288	-	-	0/54
	浄水	0/4384	0/48	0/144	0/72
	給水栓水	0/756	-	0/252	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応					
		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		30	15	15	15
項目名		アルミニウム及びその化合物	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	2,2-DPA(ダラボン)	2,4-D(2,4-PA)
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.1	0.05	0.08	0.02
発生源	水源 ¹⁾	「-」 自然由来・工場排水・下水	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場	凝集剤・凝集不良			
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾		殺虫剤 発がん(2B)	除草剤	除草剤
	快適性・利水障害	基準:着色の観点から			
監視	水源		定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水	定期測定			
対応	水源	・水源水質保全策	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・凝集剤注入率の適正化・凝集沈殿処理のpH調整	・GAC処理	・GAC処理	・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	36/36	0/45	0/45	0/45
	浄水	14/144	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	51/252	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討		実施			
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		EPN	MCPA	アシュラム	アセフェート
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.004	0.005	0.9	0.006
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	除草剤	除草剤	殺虫剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・塩素処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	本川、支川を増加	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		アトラジン	アニロホス	アミラズ	アラクロール
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.01	0.003	0.006	0.03
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	除草剤 発がんなし(G3)	除草剤	殺虫剤	除草剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		イソキサチオン	イソフェンホス	イソプロカルブ(MIPC)	イソプロチオラン(IPT)
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.005	0.001	0.01	0.3
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「 - 」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	殺虫剤	殺虫剤	殺虫剤・殺菌剤・植物成長調整剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27～29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「 - 」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		イプロベンホス(IPB)	イミノクタジン	インダノファン	エスプロカルブ
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.09	0.006	0.009	0.03
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺菌剤	殺菌剤	除草剤	除草剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定		定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	-	0/45	0/45
	浄水	0/60	-	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	H31年度より測定を実施	本川、支川を増加	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		エトフェンプロックス	エンドスルファン(ベンゾエピン)	オキサジクロメホン	オキシシ銅
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.08	0.01	0.02	0.03
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	殺虫剤	除草剤	殺菌剤 発がんなし(G3)
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理・塩素処理	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	本川、支川を増加	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		オリサストロピン	カズサホス	カフェンストロール	カルタップ
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.1	0.0006	0.008	0.3
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺菌剤	殺虫剤	除草剤	殺虫剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・GAC処理	・GAC処理	
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		本川、支川を増加	測定を実施	変更なし	測定を実施

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		カルバリル(NAC)	カルボフラン	キノクラミン(ACN)	キャプタン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.02	0.005	0.005	0.3
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤 発がんなし(G3)	殺虫剤	除草剤	殺菌剤 発がんなし(G3)
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	測定を実施	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		クミルロン	グリホサート	グルホシネート	クロメプロップ
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.03	2	0.02	0.02
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	除草剤 発がん(2A)	除草剤	除草剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理	・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		本川を増加	変更なし	本川、支川を増加	本川、支川を増加

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		クロルニトロフェン(CNP)	クロルピリホス	クロロタロニル(TPN)	シアナジン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.0001	0.003	0.05	0.001
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤	殺菌剤 発がん(2B)	除草剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・GAC処理・塩素処理	・GAC処理	・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	本川、支川を増加

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		シアノホス(CYAP)	ジウロン(DCMU)	ジクロベニル(DBN)	ジクロルボス(DDVP)
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.003	0.02	0.03	0.008
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	除草剤	除草剤	殺虫剤 発がん(2B)
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		測定を実施	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		ジクワット	ジスルホトン(エチルチオメトン)	ジチオカルバメート系農薬	ジチオピル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.005	0.004	0.005(二硫化炭素として)	0.009
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR(チウラムのみ)」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤	殺菌剤 ジネブ、ジラム、マネブ; 発がんなし(G3)	除草剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場		定期測定		定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場		・オゾン処理・GAC処理・塩素処理		・GAC処理・塩素処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	-	0/45	-	0/45
	浄水	-	0/60	-	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応					
		H31年度より測定を実施	変更なし	H30年度より測定を実施	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		シハロホップブチル	シマジン(CAT)	ジメタメトリン	ジメトエート
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.006	0.003	0.02	0.05
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	除草剤 発がんなし(G3)	除草剤	殺虫剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/15	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/20	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		測定を実施	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		シメトリン	ダイアジノン	ダイムロン	ダゾメット、メタム(カーバム)及びメチルイソチオシアネート
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.03	0.003	0.8	0.01(メチルイソチオシアネートとして)
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤 発がん(2A)	除草剤	殺菌剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理	
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	-
	浄水	0/60	0/60	0/60	-
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応					
		変更なし	変更なし	変更なし	H30年度より測定を実施

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		チアジニル	チウラム	チオジカルブ	チオファネートメチル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.1	0.02	0.08	0.3
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺菌剤	殺菌剤 発がんなし(G3)	殺虫剤	殺菌剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・GAC処理・塩素処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		本川、支川を増加	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		チオベンカルブ	テフリルトリオン	テルブカルブ (MBPMC)	トリクロピル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.02	0.002	0.02	0.006
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」 工場排水・下水・面源負 荷(農地・ゴルフ場・都市 環境整備)	「 - 」 工場排水・下水・面源負 荷(農地・ゴルフ場・都市 環境整備)	「 - 」 工場排水・下水・面源負 荷(農地・ゴルフ場・都市 環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負 荷(農地・ゴルフ場・都市 環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影 響 ²⁾	除草剤	除草剤	除草剤	除草剤
	快適性・ 利水障 害				
監視	水源	定期測定・使用実態 調査、流出パターン の把握、流下過程で の分解性	定期測定・使用実態 調査、流出パターン の把握、流下過程で の分解性	定期測定・使用実態 調査、流出パターン の把握、流下過程で の分解性	定期測定・使用実態 調査、流出パターン の把握、流下過程で の分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬 使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬 使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬 使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬 使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処 理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処 理・塩素処理	・GAC処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水				
(測定値が基準 値、目標値の10分 の1以上となった 回数) / 総測定回 数(平成27~29年 度)	原水	0/45	4/15	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/20	0/60	0/60
	給水栓 水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値) と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における 対応		変更なし	測定を実施	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「 - 」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)
 による発がん性評価
 (平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		トリクロロホン(DEP)	トリシクラゾール	トリフルラリン	ナプロパミド
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.005	0.1	0.06	0.03
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤 発がんなし(G3)	殺菌剤	除草剤 発がんなし(G3)	除草剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理 ・塩素処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		パラコート	ピペロホス	ピラクロニル	ピラゾキシフェン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.005	0.0009	0.01	0.004
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「 - 」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「 - 」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	除草剤	除草剤	除草剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場		定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・GAC処理	・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	-	0/45	0/45	0/45
	浄水	-	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		H31年度より測定を実施	変更なし	本川、支川を増加	測定を実施

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「 - 」:PRTR対象外
 2)健康影響
 発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		ピラゾリネート(ピラゾレート)	ピリダフェンチオン	ピリプチカルブ	ピロキロン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.02	0.002	0.02	0.05
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR(二種)」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤	除草剤	殺菌剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		本川、支川を増加	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		フィプロニル	フェニトロチオン(MEP)	フェノカルブ(BPMC)	フェリムゾン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.0005	0.01	0.03	0.05
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	殺虫剤	殺虫剤	殺菌剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・GAC処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	測定を実施

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		フェンチオン(MPP)	フェントエート(PAP)	フェントラザミド	フサライド
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.006	0.007	0.01	0.1
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	殺虫剤	除草剤	殺菌剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	本川、支川を増加	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		ブタクロール	ブタミホス	ブプロフェジン	フルアジナム
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.03	0.02	0.02	0.03
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	除草剤	殺虫剤	殺菌剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27～29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		本川、支川を増加	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		プレチラクロール	プロシミドン	プロチオホス	プロピコナゾール
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.05	0.09	0.004	0.05
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「 - 」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺菌剤	殺虫剤	殺菌剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・GAC処理	・GAC処理	・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	測定を実施	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「 - 」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		プロピザミド	プロベナゾール	プロモブチド	ベノミル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.05	0.03	0.1	0.02
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「 - 」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「 - 」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺菌剤	除草剤	殺菌剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理	・GAC処理・塩素処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「 - 」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		ベンシクロン	ベンゾピシクロン	ベンゾフェナップ	ベントゾン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.1	0.09	0.005	0.2
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR(二種)」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺菌剤	除草剤	除草剤	除草剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	本川、支川を増加	本川、支川を増加	変更なし

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		ベンディメタリン	ベンフラカルブ	ベンフルラリン(ベスロジン)	ベンフレセート
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.3	0.04	0.01	0.07
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺虫剤	除草剤	除草剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・オゾン処理・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし	本川、支川を増加

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		ホスチアゼート	マラチオン(マラソン)	メコプロップ(MCPP)	メソミル
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.003	0.7	0.05	0.03
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺虫剤	殺虫剤 発がん(2A)	除草剤	殺虫剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		測定を実施	変更なし	変更なし	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2	2
中分類		15	15	15	15
項目名		メタラキシル	メチダチオン(DMTP)	メミノストロピン	メトリブジン
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.2	0.004	0.04	0.03
発生源	水源 ¹⁾	「-」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「-」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」 工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場				
	配給水				
影響	健康影響 ²⁾	殺菌剤	殺虫剤	殺菌剤	除草剤
	快適性・利水障害				
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水				
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理	・GAC処理
	配給水				
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討					
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	本川を増加	本川を増加

1)水源 「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

検査対象項目調書(その2)

参考資料1.2

大分類		2	2	2
中分類		15	15	15
項目名		メフェナセット	メプロニル	モリネート
分類		水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目
基準値・評価値(mg/L)		0.02	0.1	0.005
発生源	水源 ¹⁾	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)	「PRTR」工場排水・下水・面源負荷(農地・ゴルフ場・都市環境整備)
	浄水場			
	配給水			
影響	健康影響 ²⁾	除草剤	殺菌剤	除草剤
	快適性・利水障害			
監視	水源	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性	定期測定・使用実態調査、流出パターンの把握、流下過程での分解性
	浄水場	定期測定	定期測定	定期測定
	配給水			
対応	水源	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)	・水源水質保全策(農薬使用量の削減)
	浄水場	・GAC処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理	・オゾン処理・GAC処理・塩素処理
	配給水			
(測定値が基準値、目標値の10分の1以上となった回数) / 総測定回数(平成27~29年度)	原水	0/45	0/45	0/45
	浄水	0/60	0/60	0/60
	給水栓水	-	-	-
基準値(あるいは目標値)と測定値の範囲の検討				
「水質管理計画」における対応		変更なし	変更なし	変更なし

1)水源「PRTR」:環境汚染物質排出・移動登録対象化学物質、「-」:PRTR対象外

2)健康影響

発がん(G1):人に対して発がん性がある
 発がん(G2A):人に対しておそらく発がん性がある
 発がん(G2B):人に対して発がん性がある可能性がある
 発がんなし(G3):人に対する発がん性について分類できない
 発がんなし(G4):人に対する発がん性がない

出典:IARC(国際がん研究機関)による発がん性評価(平成30年11月現在)

参考資料 2

参考資料 2 . 1 : 給水栓にかえて浄水場出口で検査する項目の
根拠となるデータ

参考資料 2 . 2 : 水質遠隔監視装置の概要

参考資料 2 . 3 : 検査の回数の設定の根拠となるデータ

参考資料 2 . 1 給水栓にかえて浄水場出口で検査する項目の根拠となるデータ

1 . 金属類

平成 27 年度から 29 年度までの過去 3 年間の水質検査結果を別表 2 . 1 . 1 に示す。

カドミウム、水銀及びセレンは、原水及び浄水ともに基準値の 10 分の 1 を超えて検出されることはなく、ヒ素の最大値は原水で基準値の 5 分の 1 の濃度を示したが、浄水は基準値の 10 分の 1 を超えて検出されることはなかった。

別表 2 . 1 . 1 過去 3 年間の水質検査結果 (平成 27 年度から 29 年度) (単位 : mg/L)

項目	水質基準値	原水		浄水	
		平均値	最大値	平均値	最大値
カドミウム	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水銀	0.0005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
セレン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ヒ素	0.01	0.0009	0.0020	<0.0005	0.0008

これらの項目は送水施設及び配水施設内で濃度が上昇しないことが明らかであると認められるため、水道法施行規則 15 条の一第一項第二号に基づき検査に供する水の採水場所は給水栓にかえて浄水場出口で行う。

2 . 揮発性有機化合物

平成 27 年度から 29 年度までの過去 3 年間の水質検査結果を別表 2 . 1 . 2 に示す。

四塩化炭素、シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン及びベンゼンは、原水及び浄水ともにそれぞれ基準値の 10 分の 1 を超えて検出されなかった。

別表 2 . 1 . 2 過去 3 年間の水質検査結果 (平成 27 年度から 29 年度) (単位 : mg/L)

項目	水質基準値	原水		浄水	
		平均値	最大値	平均値	最大値
四塩化炭素	0.002	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
ジクロロメタン	0.02	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	0.01	<0.0001	0.0009	<0.0001	<0.0001
トリクロロエチレン	0.01	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
ベンゼン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001

これらの項目は送水施設及び配水施設内で濃度が上昇しないことが明らかであると認められるため、水道法施行規則 15 条の一第一項第二号に基づき検査に供する水の採水場所は給水栓にかえて浄水場出口で行う。

3 . 非金属類

平成 27 年度から 29 年度までの過去 3 年間の水質検査結果を別表 2 . 1 . 3 に示す。

ホウ素、1,4-ジオキサン、陰イオン界面活性剤及びフェノール類は原水及び浄水ともにそれぞれ基準値の 10 分の 1 を超えて検出されることはなかった。非イオン界面活性剤の最大値は原水で基準値の 10 分の 1 の濃度を示したが、浄水は基準値の 10 分の 1 を超えて検出されることはなかった。

別表 2.1.3 過去3年間の水質検査結果（平成27年度から29年度）（単位：mg/L）

項目	水質基準値	原水		浄水	
		平均値	最大値	平均値	最大値
ホウ素	1.0	0.02	0.03	0.02	0.03
1,4-ジオキサン	0.05	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
陰イオン界面活性剤	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
非イオン界面活性剤	0.02	<0.002	0.002	<0.002	<0.002
フェノール類	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005

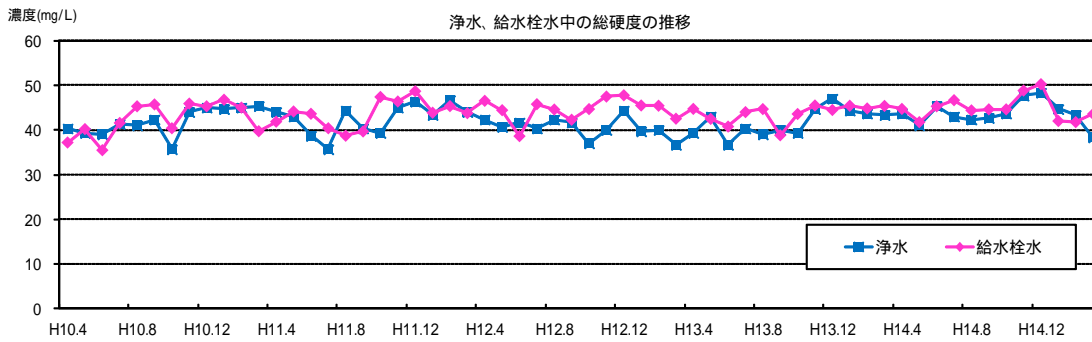
これらの項目は送水施設及び配水施設内で濃度が上昇しないことが明らかであると認められるため、水道法施行規則15条の一第一項第二号に基づき検査に供する水の採水場所は給水栓にかえて浄水場出口で行う。

また、参考資料2.1.1、参考資料2.1.2に示すように、平成10年度～平成14年度に実施した浄水及び給水栓水における硬度、蒸発残留物は、給水栓と浄水場出口での水質に差がないことから、水道法施行規則15条の一第一項第二号に基づき給水栓にかえて浄水場出口で検査を行う。

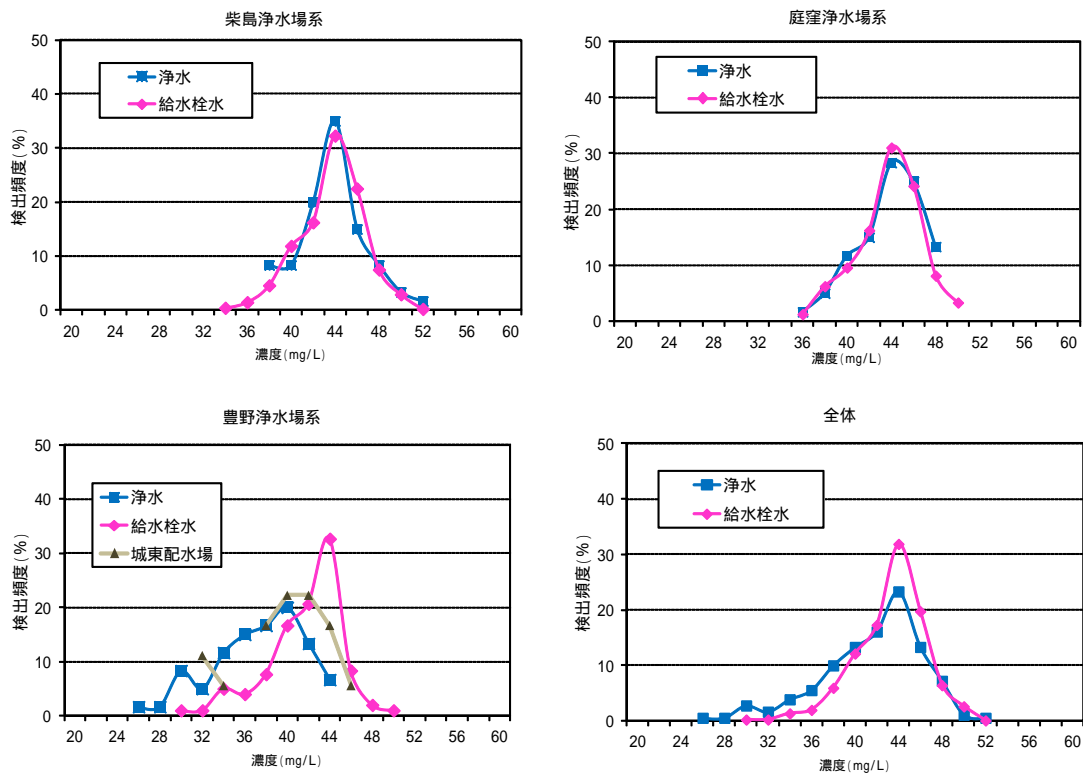
総硬度

評価期間:平成10年度～平成14年度

濃度推移



濃度分布



データ一覧

n(回数)	全域		柴島系		庭窪系		豊野系	
	浄水 (180)	給水栓水 (1260)	浄水 (60)	給水栓水 (480)	浄水 (60)	給水栓水 (480)	浄水 (60)	給水栓水 (300)
平均濃度(mg/L)	42	44	44	44	44	44	38	42
最高濃度(mg/L)	53	53	53	53	49	51	45	51
最低濃度(mg/L)	27	30	38	34	37	36	27	30
標準偏差	4.7	3.2	3.1	3.0	2.9	2.9	4.3	3.6
95%上限	51	50	50	50	50	50	46	50
95%下限	33	37	38	38	39	38	29	35
超過	55	79	82	86	88	87	61	71

超過 = (水質基準値 - 平均濃度) / 標準偏差 [水質基準値:300mg/L]

コメント

- ・浄水場出口と給水栓に大きな差異は見られなかった。
- ・濃度分布において浄水に比べて給水栓水は、柴島・庭窪系でよい一致を示したが、豊野系で上側となった。
- ・豊野系の浄水は城東配水場と似た分布を示した。
- ・総硬度の水質基準値(300mg/L)は全域の平均値の55 以上にあることから、通常では水質基準値を超えることはないと推定される。

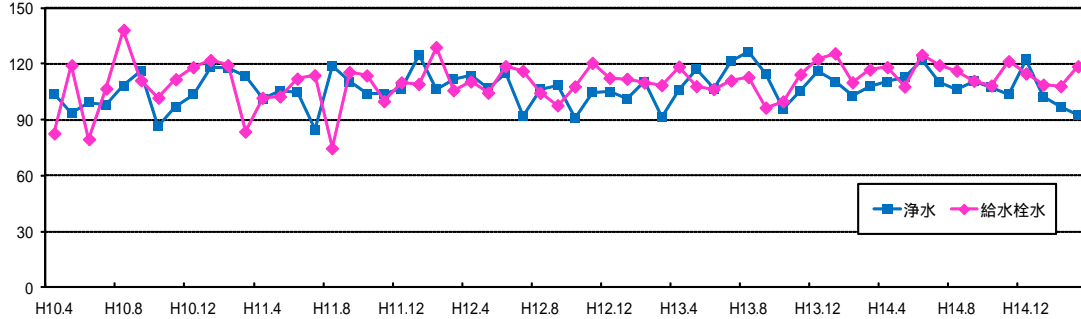
蒸発残留物

評価期間：平成10年度～平成14年度

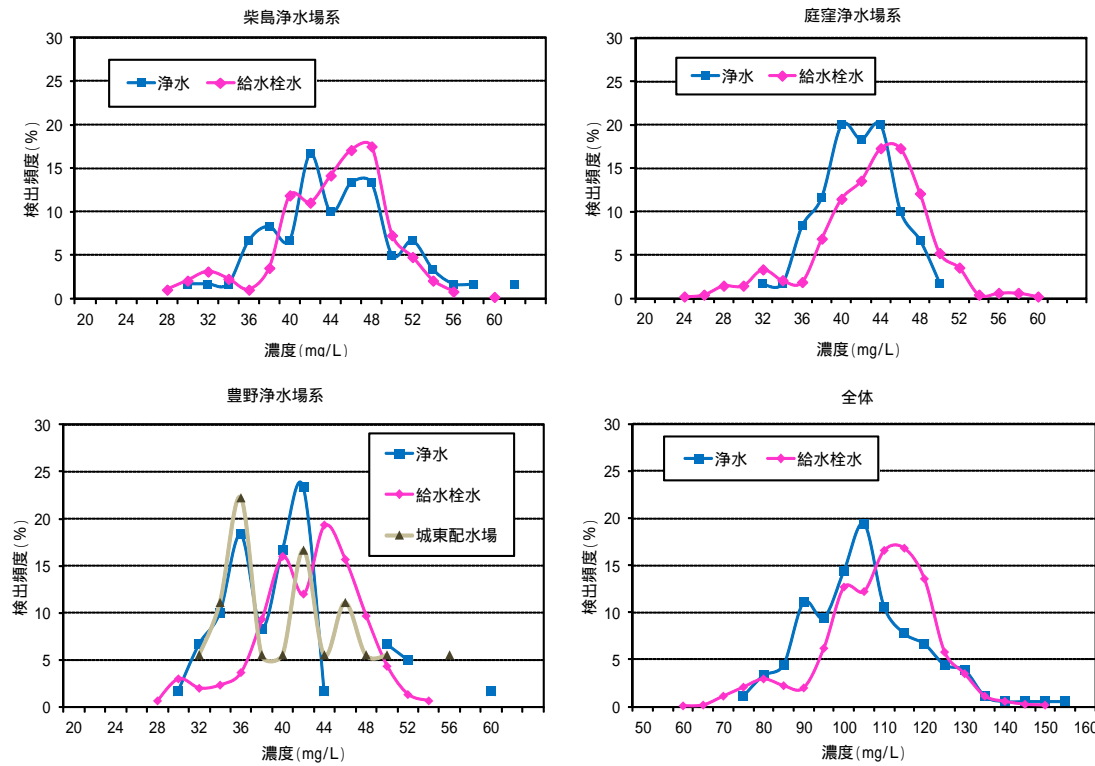
濃度推移

濃度(mg/L)

浄水、給水栓水中の蒸発残留物の推移



濃度分布



データ一覧

n(回数)	全域		柴島系		庭窪系		豊野系	
	浄水 (180)	給水栓水 (1260)	浄水 (60)	給水栓水 (480)	浄水 (60)	給水栓水 (480)	浄水 (60)	給水栓水 (300)
平均濃度(mg/L)	107	110	113	112	106	110	102	108
最高濃度(mg/L)	156	150	156	150	126	150	153	139
最低濃度(mg/L)	75	63	75	70	80	63	78	73
標準偏差	14.4	13.5	15.8	13.7	9.6	13.8	15.0	12.3
95%上限	136	137	144	140	125	138	132	133
95%下限	78	83	81	85	87	83	72	83
超過	27	29	24	28	41	28	27	32

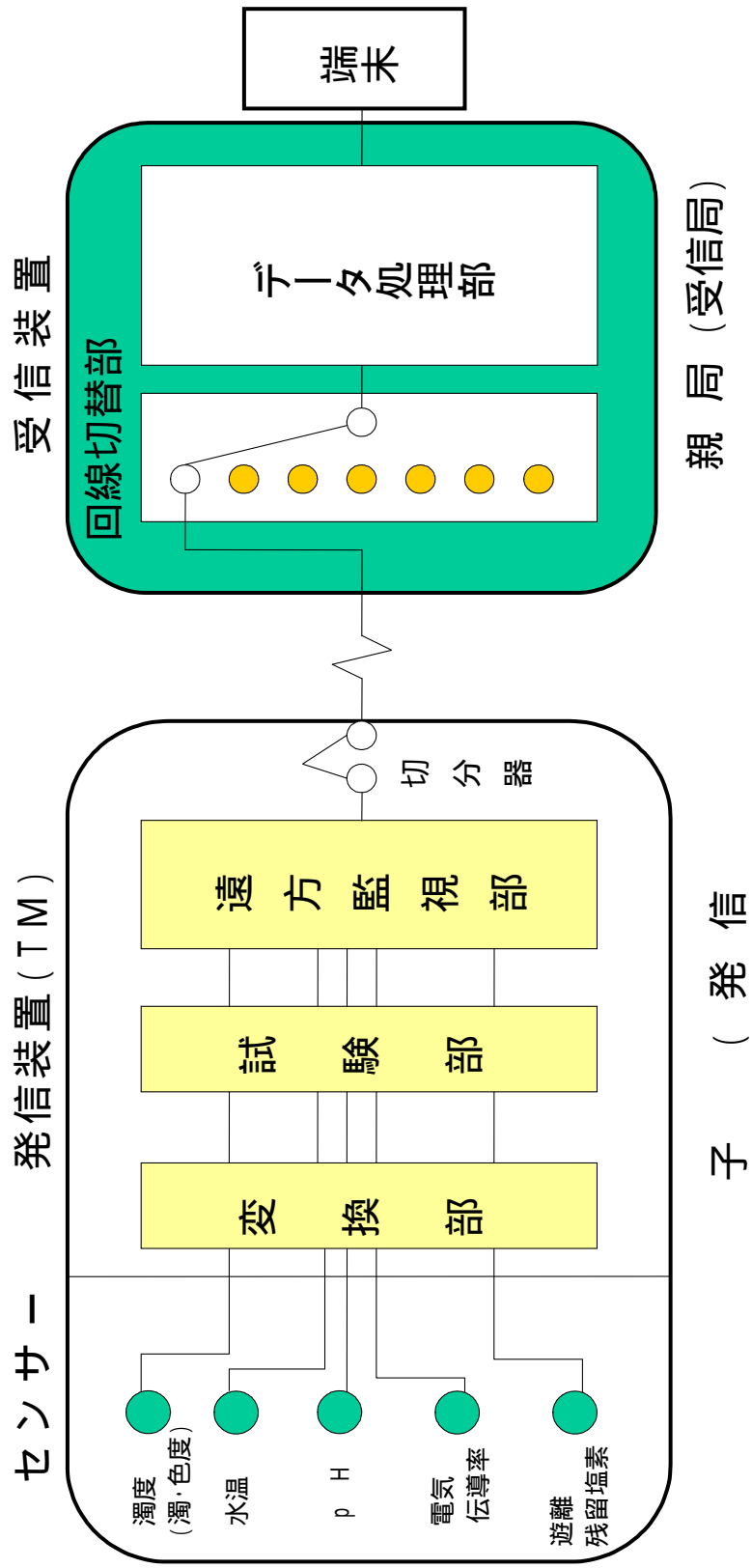
超過 = (水質基準値 - 平均濃度) / 標準偏差

[水質基準値:500mg/L]

<評価コメント>

- ・浄水場出口と給水栓に大きな差異は見られなかった。
- ・濃度分布において柴島・庭窪系でよい一致を示したが、豊野系では浄水に比べて給水栓水が上側となった。
- ・豊野系の浄水は城東配水場と似た分布を示した。
- ・蒸発残留物の水質基準値(500mg/L)は24 以上にあることから、通常では水質基準値を超えることはないと推定される。

給水栓水水質監視装置(水質TM)の概要



参考資料 2.3 検査の回数の設定の根拠となるデータ

1. 金属類（浄水場出口項目）

平成27年度から29年度までの過去3年間の水質検査結果を別表2.3.1に示す。

カドミウム、水銀、セレン及びヒ素は、原水及び浄水ともに基準値を超えて検出されなかった。

別表2.3.1 過去3年間の水質検査結果（平成27年度から29年度）（単位：mg/L）

項目	水質基準値	原水		浄水	
		平均値	最大値	平均値	最大値
カドミウム	0.003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水銀	0.0005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
セレン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ヒ素	0.01	0.0009	0.0020	<0.0005	0.0008

これらの項目の検査回数は水道法施行規則15条の一第一項第三号八に基づき3箇月に1回とする。

2. 金属類（給水栓項目）

平成27年度から29年度までの過去3年間の水質検査結果を別表2.3.2に示す。

鉛、クロム、亜鉛、銅、及びナトリウムは原水において基準値を超えて検出されなかったが、アルミニウム、鉄、マンガンについては基準値を超えて検出された。また給水栓水において、クロム、亜鉛、鉄、銅は基準値の10分の1を超えて検出されることはなかった。アルミニウム、ナトリウム、マンガンは基準値の約10分の1の濃度を示したが、基準値を超えて検出されることはなかった。なお、鉛は平成27年と28年の7月に最大値が基準値の約2分の1の濃度を示した場所があったが、基準値を超えて検出されることはなかった。

別表2.3.2 過去3年間の水質検査結果（平成27年度から29年度）（単位：mg/L）

項目	水質基準値	原水		給水栓水	
		平均値	最大値	平均値	最大値
鉛	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	0.006
クロム	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
亜鉛	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
アルミニウム	0.2	0.08	0.30	<0.01	0.02
鉄	0.3	0.22	0.68	<0.03	<0.03
銅	1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
ナトリウム	200	11	15	17	21
マンガン	0.05	0.040	0.220	<0.001	0.004

これらの項目の検査回数は水道法施行規則15条の一第一項第三号八に基づき3箇月に1回とする。

3. 揮発性有機化合物（浄水場出口項目）

平成27年度から29年度までの過去3年間の水質検査結果を別表2.3.3に示す。

四塩化炭素、シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン及びベンゼンは、原水及び浄水ともにそれぞれ基準値の10分の1を超えて検出されなかった。

別表 2.3.3 過去3年間の水質検査結果（平成27年度から29年度）（単位：mg/L）

項目	水質基準値	原水		浄水	
		平均値	最大値	平均値	最大値
四塩化炭素	0.002	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
ジクロロメタン	0.02	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	0.01	<0.0001	0.0009	<0.0001	<0.0001
トリクロロエチレン	0.01	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
ベンゼン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001

これらの項目の検査回数は水道法施行規則15条の一第一項第三号八に基づき3箇月に1回が適当であるが、併せて測定するトリハロメタン類を2箇月に1回とすることから、それと同じ2箇月に1回とする。

4. 消毒副生成物（浄水場出口項目及び給水栓項目）

平成22年度から26年度までの過去5年間のシアン及び塩化シアンについての水質検査結果を別表2.3.4に示す。

別表 2.3.4 過去5年間の水質検査結果（平成25年度から29年度）（単位：mg/L）

項目	水質基準値	原水		浄水		給水栓水	
		平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値
シアン及び塩化シアン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001

シアン及び塩化シアンは原水、浄水及び給水栓水において検出されることはなかった。浄水場出口から給水栓に至る間に濃度が増加することはないと予想されることから水道法施行規則15条の一第一項第三号八に基づき、シアン及び塩化シアンの検査回数は3箇月に1回とする。

また、シアン及び塩化シアン以外の消毒副生成物について平成27年度から29年度までの過去3年間の水質検査結果を別表2.3.5に示す。

臭素酸は原水及び給水栓水において基準値を超えて検出されることはなかった。また、クロロホルム、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム、総トリハロメタン、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、トリクロロ酢酸及びホルムアルデヒドは給水栓水で基準値を超えることはなかった。なお臭素酸は給水栓水の最大値が基準値の2分の1の濃度であった。

別表 2.3.5 過去3年間の水質検査結果（平成27年度から29年度）（単位：mg/L）

項目	水質基準値	原水		給水栓水	
		平均値	最大値	平均値	最大値
臭素酸	0.01	<0.001	<0.001	0.001	0.005
クロロホルム	0.06			0.001	0.008
ジブロモクロロメタン	0.1			0.004	0.010
プロモジクロロメタン	0.03			0.003	0.010
プロモホルム	0.09			0.001	0.003
総トリハロメタン	0.1			0.009	0.029
クロロ酢酸	0.02			<0.002	<0.002
ジクロロ酢酸	0.03			<0.001	0.002
トリクロロ酢酸	0.03			<0.001	0.002
ホルムアルデヒド	0.08			<0.002	<0.002

これらの項目の検査回数は水道法施行規則15条の一第一項第三号八に基づき3箇月に1回とすることが可能であるものの、これらの項目は浄水処理の工程で生成され、かつ浄水場出口から給水栓に至る間についても濃度

変化が予想されることから臭素酸を除く項目の検査回数は2箇月に1回とし、臭素酸は基準値に対する検出割合が高かったことから検査回数を1箇月に1回とする。

5. 陰イオン類（給水栓項目）

平成27年度から29年度までの過去3年間の水質検査結果を別表2.3.6に示す。

硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、フッ素について原水及び給水栓水、また塩素酸においては給水栓水で基準値を超えて検出されることはなかった。

別表2.3.6 過去3年間の水質検査結果（平成27年度から29年度）（単位：mg/L）

項目	水質基準値	原水		給水栓水	
		平均値	最大値	平均値	最大値
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	10	0.8	1.2	0.9	1.3
亜硝酸態窒素	0.04	0.007	0.030	<0.004	<0.004
フッ素	0.8	0.09	0.12	0.08	0.12
塩素酸	0.6			0.027	0.073

塩素酸は水道水の消毒に使用されている次亜塩素酸ナトリウムの管理状態によって濃度が変化することを考慮し、検査回数を1箇月に1回とする。他の陰イオン類についても、これとの整合性をはかり検査回数を1箇月に1回とする。

6. 非金属類（浄水場出口項目）

平成27年度から29年度までの過去3年間の水質検査結果を別表2.3.7に示す。

ホウ素、1,4-ジオキサン、陰イオン界面活性剤、非イオン界面活性剤、フェノール類は原水及び浄水ともに基準値を超えて検出されることはなかった。硬度及び蒸発残留物は浄水で基準値を超えて検出されることはなかった。

別表2.3.7 過去3年間の水質検査結果（平成27年度から29年度）（単位：mg/L）

項目	水質基準値	原水		浄水	
		平均値	最大値	平均値	最大値
ホウ素	1	0.02	0.03	0.02	0.03
1,4-ジオキサン	0.05	<0.0005	0.0005	<0.0005	<0.0005
陰イオン界面活性剤	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
非イオン界面活性剤	0.02	<0.002	0.002	<0.002	<0.002
フェノール類	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
硬度	300			41	45
蒸発残留物	500			97	120

これらの項目の検査回数は水道法施行規則15条の一第一項第三号八に基づき3箇月に1回とする。

参考資料 3

参考資料 3 . 1 : 各浄水場・各系統の過去（高度浄水処理稼働
以降）の水処理性解析結果

参考資料 3 . 2 : 臭素酸およびマンガンの各浄水場における過
去 3 年間のデータ解析結果

参考資料 3 . 1 各浄水場・各系統の過去（高度浄水処理稼動以降）の水処理性解析結果

データ解析期間は高度浄水処理通水以降である。

柴島下系：平成 10 年 4 月 1 日～ 30 年 3 月 31 日

（沈殿水と砂ろ過水の代表は、3 系とした。）

柴島上系：平成 12 年 4 月 1 日～ 30 年 3 月 31 日

（沈殿水と砂ろ過水の代表は、4 系とした。）

庭 窪：平成 11 年 4 月 1 日～ 30 年 3 月 31 日

（沈殿水と砂ろ過水の代表は、1 系とした。）

豊 野：平成 12 年 4 月 1 日～ 30 年 3 月 31 日

< 処理工程 >

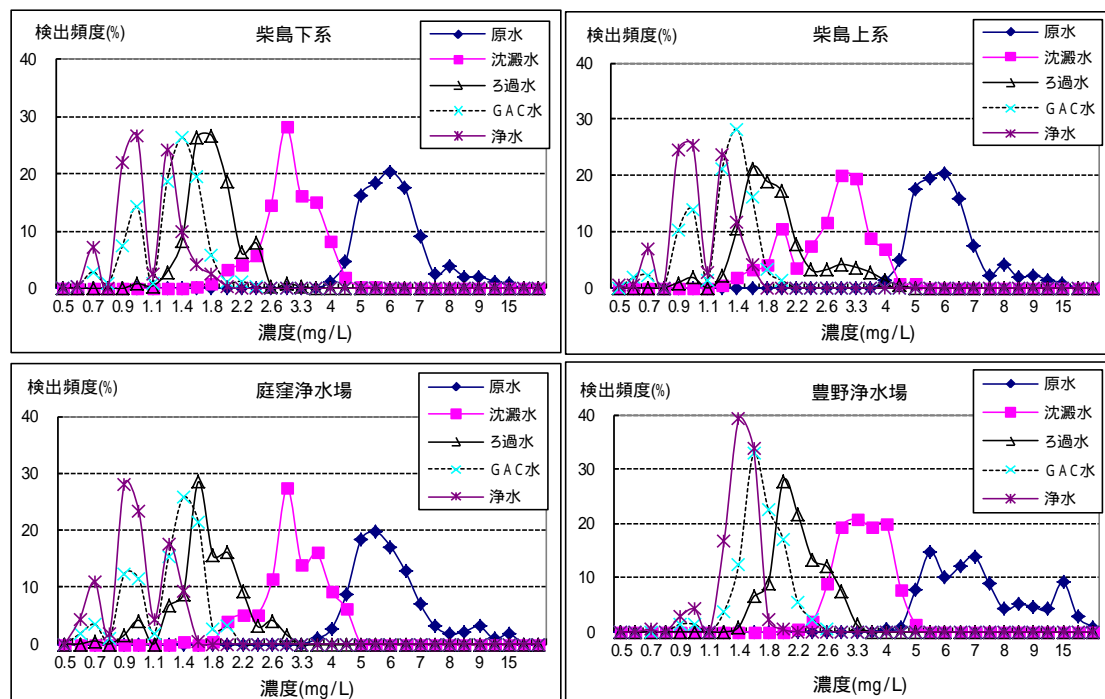
原水 沈殿水 砂ろ過水 活性炭吸着水 浄水
解析項目および解析期間中の試験頻度を下表に示した。

項 目	測定頻度	備 考
過マンガン酸カリウム消費量	毎 月	
有機物（TOC 及び DOC）	毎月 or 毎週	平成 16 年 4 月より、毎週に変更。 原水・沈殿水は DOC、その他は TOC。
紫外線吸光度	毎 週	
蛍光強度	毎 週	
pH 値	毎 日	
電気伝導率	毎 日	
アンモニア態窒素	毎 月	

各項目の解析結果を図 - 1 ~ 7 に示した。

図 - 1 過マンガン酸カリウム消費量

頻度分布



データ [目標値：3mg/L]

	柴島下系					柴島上系				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	240	240	240	240	240	216	216	216	216	216
平均	5.9	3.0	1.8	1.3	1.1	5.9	2.8	1.9	1.2	1.1
最高	13.8	5.1	3.3	2.3	1.9	13.8	5	4.1	2	1.6
最低	3.8	1.5	1.0	0.6	0.6	3.8	1.2	0.9	0.6	0.5
標準偏差	1.2	0.6	0.3	0.3	0.2	1.3	0.7	0.6	0.3	0.2
95%上限	8.4	4.1	2.4	1.9	1.5	8.5	4.1	3.1	1.8	1.5
超過	-	0	4	6	8	-	0	2	7	10
除去率	-	50	70	78	82	-	53	67	79	82

	庭窪浄水場					豊野浄水場				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	228	193	193	228	228	216	216	216	216	216
平均	5.8	3.1	1.7	1.2	1.0	7.6	3.3	2.2	1.7	1.4
最高	13.8	4.5	2.8	2.0	1.6	26.0	4.8	3.2	2.5	1.9
最低	3.5	1.4	0.7	0.6	0.6	4.0	2.2	1.4	0.9	0.7
標準偏差	1.5	0.6	0.4	0.3	0.2	3.2	0.5	0.3	0.3	0.2
95%上限	8.8	4.3	2.5	1.8	1.4	13.9	4.4	2.8	2.2	1.7
超過	-	0	3	6	10	-	-	2	5	9
除去率	-	48	71	79	83	-	56	72	78	82

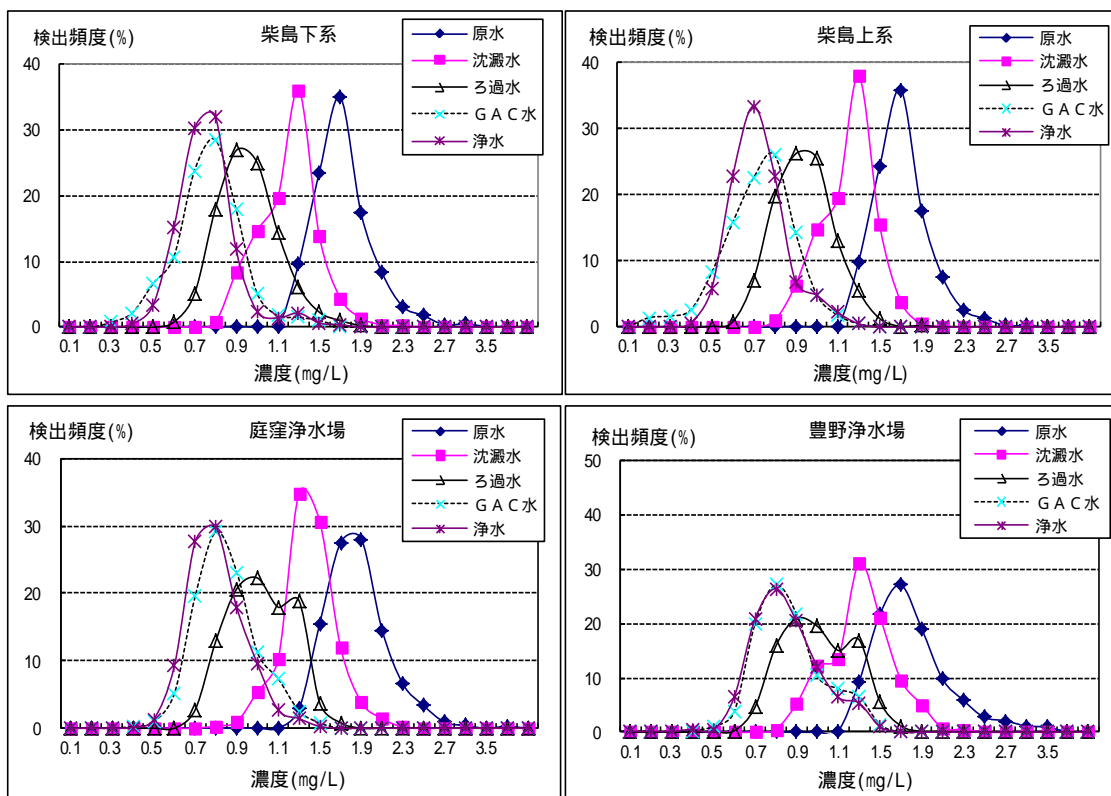
超過 = [目標値 - 平均値] / 標準偏差

コメント

- ・原水の過マンガン酸カリウム消費量は凝集沈殿、砂ろ過の過程で減少している。
- ・さらに、後オゾン、GAC処理により若干減少している。
- ・浄水でわずかに減少する。
- ・目標値(3mg/L)は浄水の平均値の8~10上側にあり、浄水の平均値が目標値を超えることはないが適切な監視が必要。
- ・各浄水場の原水の標準偏差を比較すると、豊野が最も大きく庭窪・柴島の順に小さい。これは大きい順に水質変動が大きいことを示している。
- ・グラフの横軸方向は対数表示としている。

図 - 2 有機物（全有機炭素（TOC）の量）

頻度分布



データ [基準値：3mg/L]

	柴島下系					柴島上系				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	789	789	789	789	789	765	763	763	765	763
平均	1.7	1.2	1.0	0.8	0.8	1.7	1.2	0.9	0.7	0.7
最高	3.1	2.3	1.9	1.7	1.6	2.9	2.1	1.8	1.3	1.2
最低	0.9	0.7	0.6	0.3	0.4	0.9	0.8	0.5	0.2	0.4
標準偏差	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
95%上限	2.2	1.6	1.3	1.1	1.1	2.2	1.6	1.3	1.1	1.0
超過	5	8	12	13	15	5	9	13	13	17
除去率	-	28	42	54	54	-	27	43	56	56

	庭窪浄水場					豊野浄水場				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	777	624	624	777	777	766.0	765.0	766.0	766.0	766
平均	1.8	1.4	1.0	0.9	0.8	1.8	1.3	1.0	0.9	0.9
最高	4.0	2.3	1.7	1.5	1.5	3.8	2.2	2.0	1.5	1.5
最低	1.2	0.8	0.7	0.4	0.4	1.1	0.8	0.6	0.1	0.1
標準偏差	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2
95%上限	2.4	1.8	1.4	1.2	1.1	2.5	1.8	1.4	1.2	1.2
超過	4	7	11	14	16	3	7	10	12	12
除去率	-	25	43	53	56	-	26	42	50	51

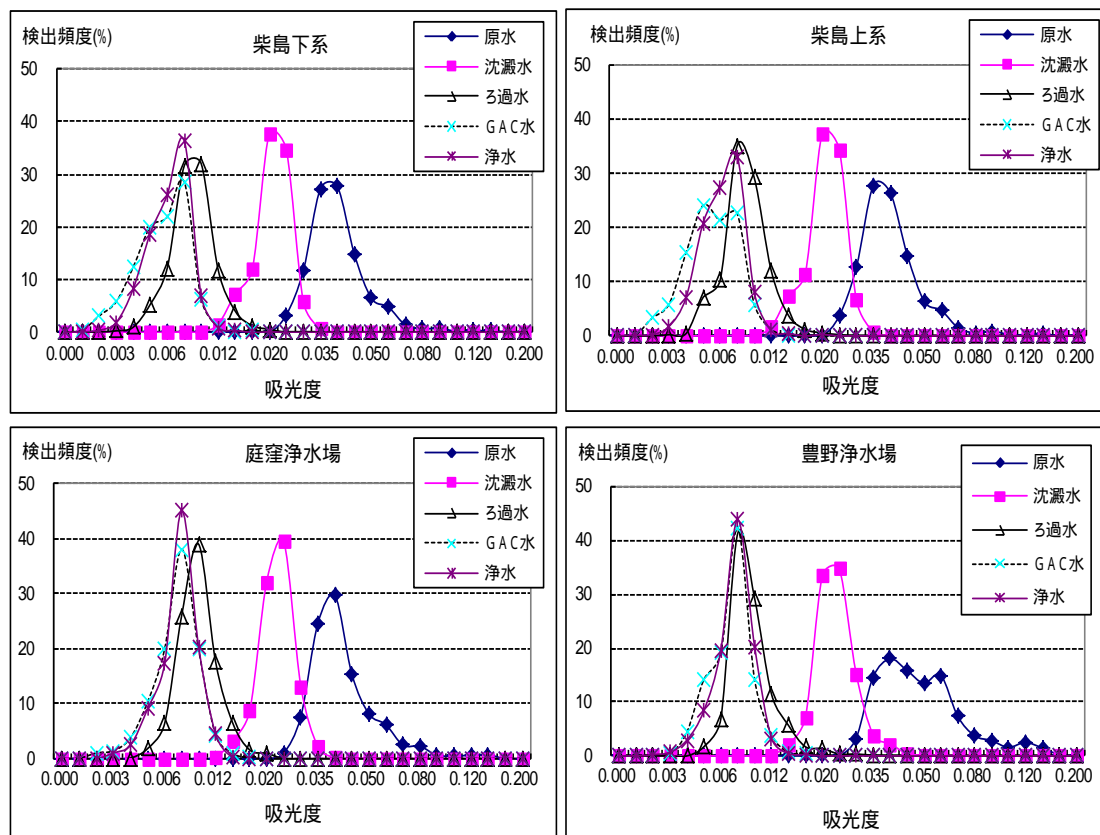
超過 = [基準値 - 平均値] / 標準偏差

コメント

- ・原水のTOCは凝集沈殿、砂ろ過により若干減少するが、濃度分布に明確な差は見られない。
- ・GAC水以降の分布は原水とは異なる。
- ・基準値（3mg/L）は浄水の平均値の12～17 上側にあり、浄水の平均値が基準値を超えることはない。
- ・グラフの横軸は対数表示としている。

図 - 3 紫外線吸光度

頻度分布



データ

	柴島下系					柴島上系				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	1020	1020	1020	1020	1020	919	916	916	919	919
平均	0.039	0.020	0.009	0.006	0.006	0.039	0.020	0.009	0.006	0.006
最高	0.189	0.034	0.018	0.017	0.017	0.189	0.039	0.025	0.016	0.017
最低	0.022	0.007	0.002	0.001	0.001	0.022	0.008	0.003	0.001	0.001
標準偏差	0.014	0.004	0.002	0.002	0.002	0.014	0.004	0.002	0.002	0.002
95%上限	0.067	0.027	0.013	0.010	0.010	0.066	0.028	0.013	0.010	0.010
除去率	-	50	78	85	84	-	49	78	85	83

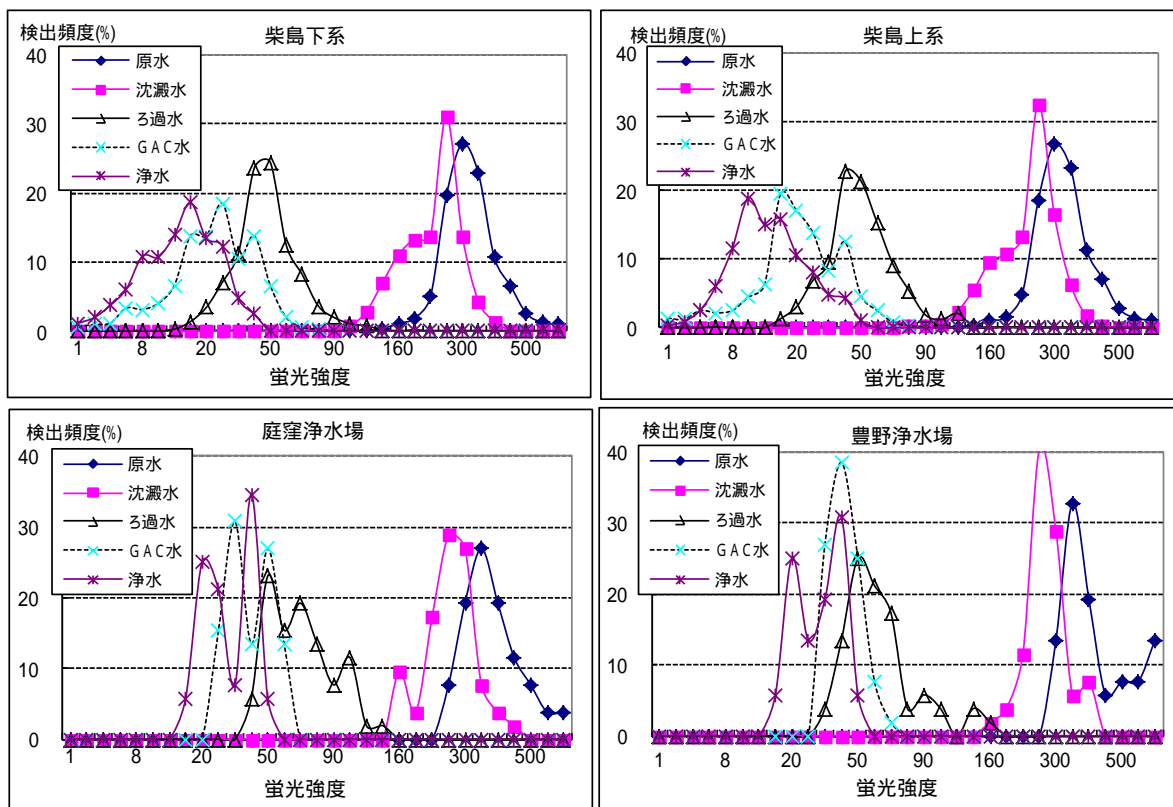
	庭窪浄水場					豊野浄水場				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	968	815	815	968	968	882	882	882	882	882
平均	0.042	0.021	0.009	0.007	0.007	0.051	0.022	0.009	0.007	0.007
最高	0.143	0.047	0.020	0.015	0.013	0.164	0.053	0.035	0.016	0.016
最低	0.022	0.012	0.004	0.001	0.003	0.026	0.011	0.005	0.001	0.002
標準偏差	0.014	0.004	0.002	0.002	0.002	0.021	0.005	0.003	0.002	0.002
95%上限	0.070	0.030	0.014	0.011	0.011	0.092	0.033	0.015	0.011	0.011
除去率	-	49	77	83	82	-	56	82	86	86

コメント

- ・紫外線吸光度は、原水、沈澱水、ろ過水の順に減少する。
- ・ろ過水以降はほとんど変化しない。
- ・グラフの横軸は対数表示としている。

図 - 4 蛍光強度

頻度分布



データ

	柴島下系					柴島上系				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	1015	1015	1015	1015	1015	921	918	918	921	921
平均	301	206	44	23	14	305	215	46	22	14
最高	733	422	178	87	39	733	431	182	85	46
最低	132	77	11	0	0	132	79	5	0	0
標準偏差	84	56	19	12	7	85	59	20	13	8
95%上限	468	318	82	48	29	475	333	86	47	30
除去率	-	32	85	92	95	-	30	85	93	95

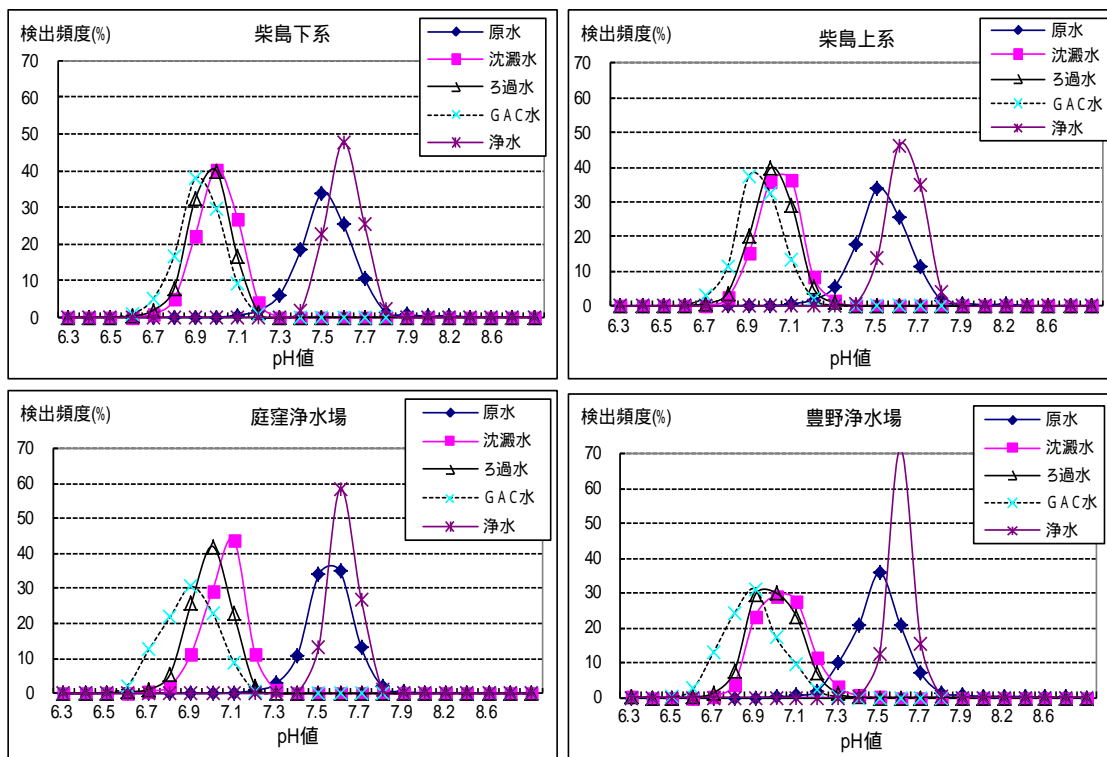
	庭窪浄水場					豊野浄水場				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
平均	360	242	66	37	27	412	250	60	38	27
最高	689	405	126	57	42	851	399	152	62	46
最低	220	144	32	21	15	264	156	28	26	15
標準偏差	99	61	21	11	9	142	57	25	9	8
95%上限	558	364	108	58	44	696	364	110	56	44
除去率	-	33	82	90	92	-	39	85	91	93

コメント

- ・沈澱水の蛍光強度は中オゾン、砂ろ過で減少する。
- ・砂ろ過水の蛍光強度は後オゾン、後塩素で若干の減少が見られる。
- ・グラフの横軸は対数表示としている。

図 - 5 pH値

頻度分布



データ [基準値： 5.8～8.6] (目標値： 7.5)

	柴島下系					柴島上系				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	4882	4882	4882	4882	4882	4393	4385	4386	4393	4393
平均	7.4	6.9	6.9	6.8	7.5	7.4	6.9	6.9	6.8	7.5
最高	8.8	7.2	7.2	7.1	7.7	8.8	7.2	7.2	7.2	7.8
最低	6.7	6.4	6.4	6.3	7.2	6.7	6.5	6.4	6.4	7.3
標準偏差	0.14	0.10	0.10	0.11	0.08	0.15	0.10	0.10	0.11	0.08
95%上限	7.7	7.1	7.1	7.0	7.7	7.7	7.1	7.1	7.1	7.7
+ 超過	8	17	18	17	14	8	17	17	17	14
- 超過	11	11	11	9	21	11	11	11	10	22

	庭窪浄水場					豊野浄水場				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	4637	3914	3914	4637	4637	4393	4393	4393	4393	4393
平均	7.5	7.0	6.9	6.8	7.5	7.4	6.9	6.9	6.8	7.5
最高	8.7	7.3	7.2	7.3	7.7	8.8	7.4	7.3	7.2	7.7
最低	7.0	6.4	6.4	6.4	7.3	6.9	5.2	5.9	6.4	7.3
標準偏差	0.12	0.10	0.10	0.13	0.07	0.15	0.12	0.12	0.13	0.05
95%上限	7.7	7.2	7.1	7.0	7.6	7.7	7.2	7.1	7.0	7.6
+ 超過	9	16	17	14	16	8	14	15	14	20
- 超過	13	11	11	8	26	11	9	9	7	31

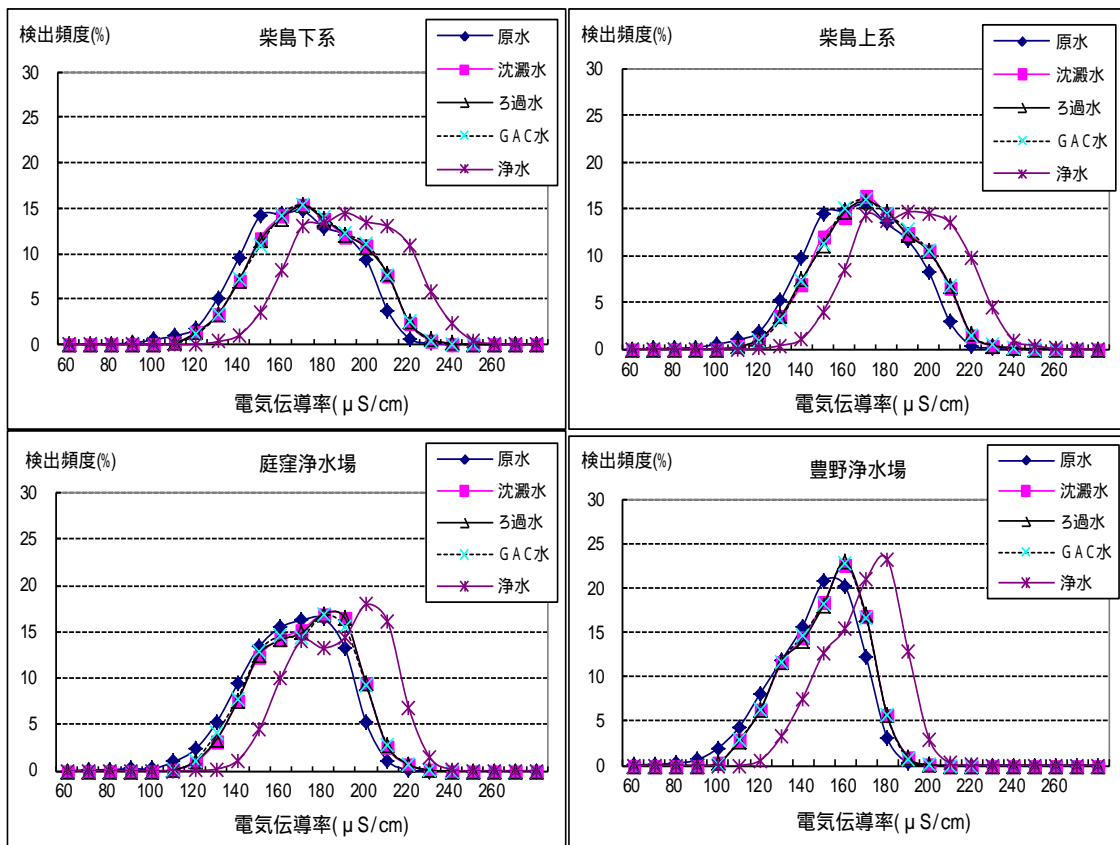
+ 超過 = [基準上限値 - 平均値] / 標準偏差 - 超過 = [基準下限値 - 平均値] / 標準偏差

コメント

- ・原水のpHは7.4であるが、凝集剤注入により6.9程度まで低下する。
- ・沈澱水からGAC水まではpH分布に変化がない。
- ・浄水は、後アルカリ剤注入により目標値と同じ7.5となる。
- ・浄水のpHは基準値(5.8～8.6)の上限値、下限値を超えることはない。

図 - 6 電気伝導率

頻度分布



データ

	柴島下系					柴島上系				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	4882	4882	4882	4882	4882	4393	4385	4386	4393	4393
平均	163	169	169	170	188	162	168	168	169	186
最高	224	230	235	240	258	224	231	234	232	252
最低	62	103	102	107	122	62	104	103	107	118
標準偏差	24	23	24	23	24	23	23	23	22	23
95%上限	210	216	217	216	235	208	214	214	214	231
除去率	-	-4	-4	-4	-16	-	-4	-4	-4	-15

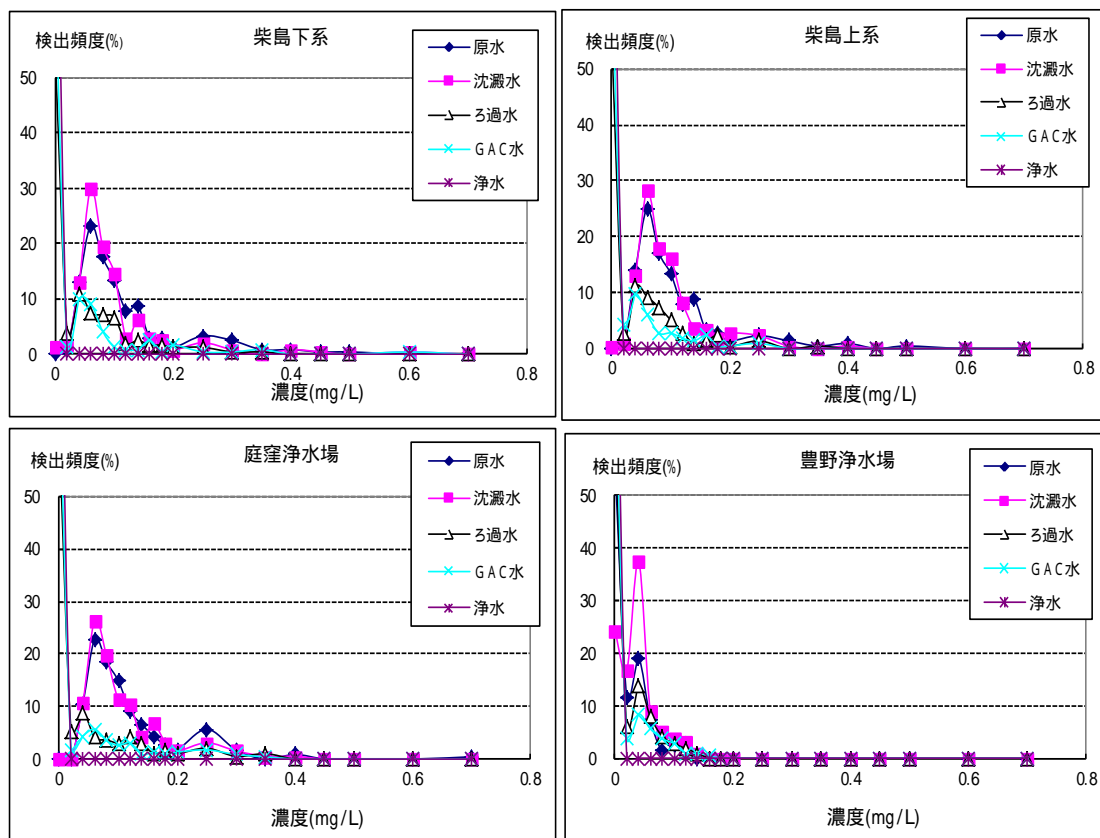
	庭窪浄水場					豊野浄水場				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	4637	3914	3914	4637	4637	4393	4393	4393	4393	4393
平均	161	167	167	166	184	141	146	146	146	163
最高	218	225	223	221	234	198	193	195	195	211
最低	64	101	102	103	114	54	92	93	95	111
標準偏差	22	21	21	21	21	19	18	18	18	17
95%上限	204	208	208	208	225	180	182	182	182	198
除去率	-	-4	-4	-3	-14	-	-4	-4	-4	-16

コメント

- ・原水からGAC処理水までは、ほぼ同じ濃度分布を示す。
- ・浄水の電気伝導率は1割程度増加する。

図 - 7 アンモニア態窒素

頻度分布



データ

	柴島下系					柴島上系				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	240	240	240	240	240	216	216	216	216	216
平均	0.10	0.09	0.04	0.03	<0.02	0.09	0.09	0.04	0.02	<0.02
最高	0.47	0.51	0.32	0.53	<0.02	0.47	0.38	0.34	0.23	<0.02
最低	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
標準偏差	0.07	0.06	0.06	0.06	-	0.06	0.05	0.05	0.05	-
95%上限	0.24	0.21	0.15	0.16	-	0.22	0.19	0.15	0.11	-
除去率	-	13	61	70	100	-	8	61	75	100

	庭窪浄水場					豊野浄水場				
	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水	原水	沈澱水	ろ過水	GAC水	浄水
n	228	193	193	228	228	216	216	216	216	216
平均	0.10	0.10	0.04	0.03	<0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	<0.02
最高	0.70	0.36	0.32	0.32	<0.02	0.12	0.14	0.14	0.15	<0.02
最低	0.03	0.03	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
標準偏差	0.07	0.06	0.06	0.06	-	0.03	0.03	0.03	0.03	-
95%上限	0.25	0.21	0.17	0.15	-	0.07	0.09	0.08	0.08	-
除去率	-	8	64	72	100	-	-74	-3	20	100

コメント

- ・原水中のアンモニア態窒素は0.12mg/L程度である。
- ・砂ろ過、GAC処理により6割程度除去される。
- ・浄水でアンモニア態窒素は検出されない。

参考資料 3 . 2 臭素酸およびマンガンの各浄水場における過去 3 年間のデータ解析結果

水質基準項目および水質管理目標設定項目について、測定が基準値、目標値の 10 分の 1 以上となる頻度およびその範囲（過去 3 年間）について検討し、臭素酸（水質基準項目）およびマンガン（水質管理目標設定項目）を水質管理上重要な水質項目として詳細な解析を行った。

臭素酸の解析結果

データ [基準値：0.01mg/L] 平成27年度～29年度の結果

	柴島浄水場			庭窪浄水場		豊野浄水場	
	原水	浄水(下系)	浄水(上系)	原水	浄水	原水	浄水
n	36	36	36	36	36	36	36
平均	<0.0005	0.0013	0.0014	<0.0005	0.0014	<0.0005	0.0016
最高	<0.0005	0.0030	0.0030	<0.0005	0.0040	<0.0005	0.0040
最低	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
標準偏差	-	0.0009	0.0011	-	0.0013	-	0.0012
95%上限	-	0.0032	0.0036	-	0.0039	-	0.0039
// 下限	-	<0.0005	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0005
超過	-	9	8	-	7	-	7

超過 = [基準値 - 平均値] / 標準偏差

コメント

- ・基準値（0.01mg/L）は浄水の平均値の7～8 上側にあり、浄水の平均値が基準値を超えることはないが適切な監視が必要。
- ・「浄水場水質管理計画」における測定頻度は1回/月であるが、6月から9月の高水温期について、これを1回/週とする。

マンガンの解析結果（水質管理目標設定項目）

データ [目標値：0.01mg/L] 平成27年度～29年度の結果

	柴島浄水場			庭窪浄水場		豊野浄水場	
	原水	浄水(下系)	浄水(上系)	原水	浄水	原水	浄水
n	156	156	156	155	156	156	156
平均	0.039	<0.001	0.001	0.039	<0.001	0.043	<0.001
最高	0.220	0.004	0.007	0.186	0.003	0.168	<0.001
最低	0.016	<0.001	<0.001	0.018	<0.001	0.010	<0.001
標準偏差	0.026	0.001	0.001	0.022	0.001	0.031	0.000
95%上限	0.092	0.002	0.003	0.084	0.002	0.106	<0.001
// 下限	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
超過	-	11	8	-	13	-	-

超過 = [目標値 - 平均値] / 標準偏差

コメント

- ・目標値（0.01mg/L）は浄水の平均値の8～13 上側にあり、浄水の平均値が目標値を超えることはないが適切な監視が必要。
- ・「浄水場水質管理計画」における測定頻度は1回/週であり、変更の必要はない。